

「しずおか☆未来をひらく子どもプラン」平成26年度実施内容等一覧表
～平成26年度当初予算～

単位：千円

施策目標	基本施策	事業数							ページ数	平成26年度当初予算	
		総数	うち新規	うち拡充	うち継続	うち終了	(再掲)重点事業	(再掲)まちみがき事業		予算額	うち一般財源
施策目標1	基本施策1	11	1	1	8	1	1	1	1 ~ 2	1,129,119	915,718
	基本施策2	42	6	1	34	1	3	2	3 ~ 9	17,320,940	5,580,829
	基本施策3	10	0	0	10	0	0	0	10 ~ 11	2,888,017	1,710,596
	基本施策4	11	0	0	11	0	0	2	12 ~ 13	211,166	69,342
施策目標2	基本施策1	13	1	3	9	0	3	3	14 ~ 15	9,615,876	5,856,973
	基本施策2	4	0	0	4	0	1	0	16	263	263
	基本施策3	3	0	1	2	0	0	0	17	787	787
施策目標3	基本施策1	26	0	2	23	1	1	0	18 ~ 22	1,938,983	1,769,758
	基本施策2	17	0	0	17	0	0	0	23 ~ 26	19,524	16,258
	基本施策3	8	0	1	7	0	0	0	27 ~ 28	13,501	13,436
	基本施策4	7	0	0	6	1	0	0	29 ~ 30	1,090,913	608,924
	基本施策5	28	0	1	26	1	0	1	31 ~ 35	1,303,928	391,028
施策目標4	基本施策1	22	0	1	20	1	3	2	36 ~ 39	603,256	573,981
	基本施策2	23	0	1	20	2	0	0	40 ~ 43	33,083	24,446
施策目標5	基本施策1	2	0	0	2	0	1	0	44	650	650
	基本施策2	8	0	0	8	0	0	0	45 ~ 46	15,253	15,253
合計		235	8	12	207	8	13	11		36,185,259	17,548,242

(注1)「平成26年度当初予算」欄の数値について、事務事業によっては子育て支援事業以外を含んだもの(例えば、障害者関連事業で障害児関係と予算の切り分けができないなど。)があり、この場合、その数値を含めていません。

(注2)本一覧表は、平成26年2月24日に取りまとめた状況です。

施策目標1 「子どもを安心して生み、育てることができる環境づくり」 ※「区分」欄の説明

基本施策1 「妊娠・出産期における支援や医療体制の充実」

「継」⇒前年度から単に継続する事業、「新」⇒平成26年度からの新規事業、「重」⇒子どもプラン上の重点施策、「ま」⇒まちみがき戦略推進プラン事業、「拡」⇒平成26年度に拡大・拡充する事業、「終」⇒終了した事業

単位：千円

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
1	拡	夫婦	不妊治療費助成事業	医療保険が適用されず、高額な治療費がかかる特定不妊治療(体外受精、顕微受精)に対し、その治療に要する経費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図ります。	体外受精、顕微受精、 両治療併用 実人数 529人 延件数 796件	体外受精、顕微受精、 両治療併用 実人数 518人 延件数 888件	特定不妊治療に要する費用の一部を助成(体外受精、顕微受精) 実人数 810人 延件数 958件	特定不妊治療に要する費用の一部を助成(体外受精、顕微受精)及び凍結胚移植(採卵を伴わないもの)及び採卵をしたが卵が得られない等のため中止したものについては、助成額を15万円から7.5万円に減額。	特定不妊治療(体外受精、顕微受精)及び一般不妊治療(人工授精)に要する費用の一部を助成 ※制度拡充(所得制限の撤廃、助成額の上乗せ、一般不妊治療の創設)	助成件数 延1,000組	健康づくり推進課 母子保健担当 054-221-1574	市HP(健康づくり推進課) 市広報紙	231,125	145,812
2	継	妊婦	助産施設措置事業	経済的な理由から入院助産を受けることができない妊産婦を助産施設に入所させ、安全な出産を図ります。	市内 3か所 利用者 15人	市内 3か所 利用者数 17人	市内 4か所 利用者数 17人	市内3か所 利用者見込数 13人	市内3か所 利用者見込数 16人	市内3か所 で実施	子ども家庭課 総務担当 054-221-1161	—	5,600	2,800
3	継		母子健康手帳の交付と妊婦保健相談	各保健福祉センターにおいて母子健康手帳を交付し、個別面談により母子の健康管理や育児に対するの保健相談を実施します。	保健福祉センター(9か所)で実施 母子健康手帳交付件数 6,134件 ※妊娠11週までの妊娠届出率 87.5%	全保健センターで実施 母子健康手帳交付件数 5,756件 ※妊娠11週までの妊娠届出率 89.3%	母子健康手帳を交付し、健康相談を実施 交付件数 5,672件 ※妊娠11週までの妊娠届出率 90.4%	母子健康手帳を交付し、健康相談を実施 5,550件	母子健康手帳を交付し、健康相談を実施 5,900件	妊娠週数11週以内の妊娠届出率90.0%	健康づくり推進課 母子保健担当 054-221-1574	市HP(健康づくり推進課) 市広報紙	1,520	1,520
4	継		妊婦健康診査事業	安全・安心な分娩や出産、妊婦の経済的負担の軽減を図るため、母子健康手帳交付時に14回分の公費負担の受診票を交付し、医療機関等への受診を勧奨します。	初回: 5,948人 2~14回: 延61,973人 超音波健診: 延21,890人 血液検査: 5,547人 ※妊婦健診平均受診率 80.2%	初回: 5,724人 2~14回: 延60,532人 超音波健診: 延21,277人 血液検査: 5,407人 ※妊婦健診平均受診率 81.3% 妊婦歯科健診受診者数 1,695人	妊婦健康診査14回分、 超音波検査4回分、 血液検査1回、 歯科健康診査1回の受診券を交付 ○妊婦健診 初回 5,560人 2~14回 延58,877人 超音波 延20,475人 血液検査 5,197人 ※初回を除く13回分の平均受診率 81.5% ○妊婦歯科健診 受診者数 2,309人	妊婦健康診査14回分、 超音波検査4回分、 血液検査1回、 歯科健康診査1回の受診券を交付 ○妊婦健診(見込) 初回 5,494人 2~14回 延60,505人 超音波 延20,937人 血液検査 5,244人 ※初回を除く13回分の平均受診率 84.7% ○妊婦歯科健診(見込) 受診者数 2,320人	妊婦健康診査14回分、 音波検査4回分、 血液検査1回、 歯科健康診査1回の受診券を交付 5,900件	初回を除いた13回の公費負担妊婦健診平均受診率 80% (初回を100%とする。)	健康づくり推進課 母子保健担当 054-221-1574	市HP(健康づくり推進課) 市広報紙	490,621	490,621
5	継	妊産婦	妊産婦訪問事業	身体や家庭環境その他の事情により個別支援が必要な妊産婦に対し、安心して出産・育児ができるように、保健師が家庭訪問を実施します。	訪問件数 実件数 363件 延件数 543件	訪問件数 実件数 455件 延件数 680件	妊産婦への保健師による家庭訪問 実件数 466件 延件数 737件	妊産婦への保健師による家庭訪問 実件数(見込) 570件 延件数(見込) 940件	妊産婦への保健師による家庭訪問	継続実施	葵健康支援課 054-249-3196 駿河健康支援課 054-285-8377 清水健康支援課 054-348-7981	市HP(健康づくり推進課) チラシ	0	0

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
6	継	妊婦	出産育児一時金の支給	静岡市国保加入者が出産した場合、出産育児一時金を支給します。 〔一時金の範囲内で、医療機関等へ出産費用を市から直接支払う制度(直接支払制度、受取代理制度)があります。〕	出産育児一時金支給件数 815件 支給金額 344,004千円 〔うち直接支払制度利用 770件 296,776千円〕	出産育児一時金支給件数 907件 支給金額 375,864千円 〔うち直接支払制度利用 860件 330,643千円〕	出産育児一時金支給件数 772件 支給金額 323,861千円 〔うち直接支払制度利用 741件 293,572千円〕	出産育児一時金の支給 (直接支払制度、受取代理制度あり)	出産育児一時金の支給 (直接支払制度、受取代理制度あり)	継続実施	保険年金管理課 国保給付担当 054-221-1539	市HP (保険年金管理課) 国保のしおり	375,863	250,575
7	継	妊婦保護者	両親教室・マタニティ教室の開催	初めてお母さん・お父さんになる保護者を対象に、お風呂の入れ方や親の心構え等を指導する両親教室や、初妊婦を対象に、安心して出産に臨めるよう生活指導(栄養や口腔衛生を含む)をするマタニティ教室を開催します。	開催回数 131回 参加者 2,790人	開催回数 124回 参加者 2,917人	両親教室、マタニティ教室、講演会等を実施 開催回数 126回 参加者 2,908人	両親教室、マタニティ教室、講演会等を実施 開催回数 126回 参加者(見込) 3,100人	両親教室、マタニティ教室、講演会等を実施	継続実施	葵健康支援課 054-249-3196 駿河健康支援課 054-285-8377 清水健康支援課 054-348-7981	市HP(健康づくり推進課) 市広報紙 チラシ 子育てハンドブック	15,647	15,647
8	継	0歳保護者	こんにちは赤ちゃん事業	生後4か月までの乳児がいる家庭を対象に、その家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、保健師等が必要な情報・サービス提供を実施します。	訪問件数 5,286件 訪問率 89.9%	訪問対象者 5,770件 訪問件数 5,340件 訪問率 92.5%	生後4か月までの乳児の家庭訪問 対象者 5,432人 訪問件数 5,096件 訪問率 93.8%	生後4か月までの乳児の家庭訪問 対象者 5,800件 訪問件数 5,400件 訪問率 93.0%	生後4か月までの乳児の家庭訪問 対象者 5,700件 訪問件数 5,350件 訪問率 93.9%	出生者に対し、生後4か月以内の訪問率 90.0%	健康づくり推進課 母子保健担当 054-221-1574	市HP(健康づくり推進課) 市広報紙 チラシ	No.100 に含む	No.100 に含む
9	継	保護者(女性)	女性のための健康相談	市女性会館相談室において、女性特有の身体や健康に関する悩みに対し、専門の女性医師等が相談に応じます。	毎月1回実施(第4木曜日…医師) 相談件数 43件	毎月1回実施(第4木曜日…看護師) 相談件数 27件	毎月1回実施(第4木曜日…看護師) 相談件数 28件	毎月1回実施(第4木曜日…看護師)	毎月1回実施(第4木曜日…看護師)	毎月1回実施(第4木曜日…看護師)	男女参画・市民協働推進課 男女共同参画担当 054-221-1349	市HP、広報紙(毎月掲載) パンフレット	144	144
10	終重	全市民	急病センターの再整備	初期救急医療については、静岡地域と清水地域で体制が異なるため、急病センターを東静岡地区に再整備し、夜間(準夜帯)の体制を急病センター方式に一元化することにより、安定的な医療の提供体制を構築します。	○地質調査、基本・詳細設計 ○パブリックコメント ○周辺住民説明会 ○関係者(医師会)協議	○建設工事(1年目) *着工～基礎工事 ○周辺住民説明会	・建設工事(2年目竣工) ・備品等整備 ・周辺住民説明 ・初期救急体制の変更及び急病センター移転についてポスター・チラシの配布等による周知	H25.4.1開所。	H25.4.1開所により終了	「急病センター方式」に一元化し、平成24年度に葵区城東町にある急病センターを移転建設、平成25年度当初に開所。	保健衛生総務課 衛生総務担当 054-221-1549	市HP 市広報紙 ポスター・チラシ	—	—
11	新	独身男女	しずおかエンジェルプロジェクト推進事業	少子化対策の一環として取り組む結婚支援事業で、本市と中小企業福利厚生団体、民間業者の3者連携で実施します。事業の内容は、年間を通したサポートを想定しており、出会いを求める男女に対し、「出会いの場」を提供するイベントを開催すると共に、恋愛に消極的な人たちが次回成功に近づけるような恋愛スキルアップ講座、相談業務などのサポート事業も実施します。	—	—	—	未実施 (平成26年度より実施)	出会いイベントを計4回、フォローイベント(恋愛スキルアップ講座、共同体験)を計2回、年間を通して計6回のイベントと相談業務を実施予定。	年間カップル数5組	青少年育成課 育成担当 054-221-1698	市HP 市広報紙 ポスター・チラシ	8,599	8,599
合 計													1,129,119	915,718

(注1)「平成26年度当初予算額」の「合計」について、欄内にある「No.〇〇に含む」や「〇〇〇の一部」などの表現をしている予算額は、他事業と切り分けができないことや事業対象者に子ども以外を含んでいるなどの理由により、合計額に含めていません。

(注2)「平成25年度実績(見込)」については、平成26年9月頃にあらためて確定値を公表します。

(注3)本一覧表は、平成26年2月24日に取りまとめた状況です。

施策目標1「子どもを安心して生み、育てることができる環境づくり」
基本施策2「子育て支援サービスの充実」

※「区分」欄の説明

「継」⇒前年度から単に継続する事業、「新」⇒平成26年度からの新規事業、「重」⇒子どもプラン上の重点施策、「ま」⇒まちみがき戦略推進プラン事業、「拡」⇒平成26年度に拡大・拡充する事業、「終」⇒終了した事業

単位:千円

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
12	継	妊婦0歳～3歳保護者	子育て支援ヘルパー派遣事業	母親が出産直後や多子家庭で家事・育児を行うことが困難な家庭、又は妊娠中体調不良の方に、家事・育児の支援を行うことにより、子育ての負担の軽減や育児不安の予防を図ります。	利用世帯数・回数【0歳児】67世帯 295回【1～2歳児(多子)】47世帯 150回【妊婦】2世帯 9回	継続実施【0歳児】105世帯 302回【1～2歳児(多子)】23世帯 56回【妊婦】14世帯 64回	継続実施【0歳児】102世帯 354回【1～2歳児(多子)】43世帯 146回【妊婦】18世帯 60回	継続実施【0歳児】136世帯 429回【1～2歳児(多子)】48世帯 127回【妊婦】28世帯 97回	継続実施【0歳児】163世帯 489回【1～2歳児(多子)】57世帯 171回【妊婦】35世帯 105回	継続実施【0歳児】115世帯【1～2歳児(多子)】65世帯【妊婦】30世帯	子ども家庭課 給付担当 054-221-1381	市HP(子ども家庭課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」チラシ バス、電車を利用した広告	1,834	1,834
13	継	妊婦0歳～18歳未満保護者	養育支援訪問事業	養育支援が特に必要であると判断した子育て家庭に対して、専門的資格を有する訪問員等がその家庭を訪問し、養育に関する指導・助言、家事援助などを行います。	未実施	訪問世帯数:7世帯 平成23年11月から訪問支援開始。	訪問世帯数:20世帯 訪問員への研修会:2回開催(12月、3月)	訪問世帯数:20世帯 訪問員への研修会:2回開催(9月、10月)	訪問世帯数:40世帯 訪問員への研修会:2回開催	各年度40世帯を目標に継続実施	子ども家庭課 総務担当 054-221-1161	—	4,870	2,731
14	継	妊婦0歳～18歳未満保護者	しずおか子育て優待カード事業	18歳未満の子どものいる「子育て世帯」と妊娠中の方に「しずおか子育て優待カード」を配付し、子ども同伴で優待カードを提示すると、協賛店舗の「応援サービス」が受けられます。	市内協賛店舗数 631件 (H23.6.1現在)	市内協賛店舗数 758件 (H24.6.1現在)	市内協賛店舗数 667件 (H25.6.1現在) ・啓発キャンペーンの実施(県との合同実施)	市内協賛店舗数 737件 (H25.1.31現在)	継続実施するとともに、協賛店舗数の増加に努める。	市内協賛店舗数 750件	子ども未来課 企画調整担当 054-221-1169	市HP(子ども未来課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」子育てハンドブック 静岡県HP	0	0
15	継重		子育て相談などの相談支援体制の充実	関係機関等と連携し、子育て相談をはじめとする相談支援体制の充実を図ります。	児童相談体制検討ワーキングを開催【ガイドライン部会】4回開催、「静岡市子ども虐待対応ガイドライン」の作成【研修部会】3回開催、各課で実施する児童相談研修の把握	児童相談体制検討ワーキングを開催【ガイドライン部会】3回開催、「静岡市子ども虐待対応ガイドライン」の見直し【研修部会】3回開催、内容:静岡市児童相談職員研修計画を作成	児童相談体制検討ワーキングを開催【ガイドライン部会】3回開催、市関係機関の連携についての共通認識とガイドラインの活用方法の検討【研修部会】2回開催、内容:静岡市児童相談職員研修計画を作成	児童相談体制検討ワーキングを開催【ガイドライン部会】外部の関係機関への提供の検討。【研修計画検討・実施】静岡市児童相談職員研修計画を作成・実施	児童相談体制検討ワーキングを開催【ガイドライン部会】外部の関係機関への提供の検討。【研修計画検討・実施】静岡市児童相談職員研修計画を作成・実施	児童相談体制検討ワーキングによる様々な子育て支援相談体制に係る諸問題を検討し、相談体制の充実を図る。	児童相談所 相談判定担当 054-275-2871 子ども家庭課 総務担当 054-221-1161	—	0	0
16	継		子育て応援総合HP「ちゃむ」の運営	子育てに関する行政情報や制度案内をはじめ、サークル紹介、イベント情報などを総合的に掲載したインターネットホームページや携帯サイトを管理運営します。	子育て関連情報の提供 ○毎月平均トップページアクセス件数 約4,700件(平成22年度)	子育て関連情報の提供 ○毎月平均トップページアクセス件数 5,493件	子育て関連情報の提供 ○毎月平均トップページアクセス件数 7,838件(H25.6.1現在) ○トップページのリニューアル	子育て関連情報の提供 ○毎月平均トップページアクセス件数7,482件(H25.4月～12月)	子育て関連情報の提供	毎月平均アクセス件数 10,000件	子ども未来課 企画調整担当 054-221-1169	『静岡市子育て応援総合サイト「ちゃむ」』 アドレス: http://www.chum-shizuoka.jp	697	487
17	継	妊婦0歳～概ね18歳保護者	「しずおか子育てハンドブック」の作成・配布	子育てに関する様々な情報を掲載したハンドブックを作成し、主に保健福祉センターで母子健康手帳交付時に配布します。	15,000部作成・配布	平成23年8月発行 15,000部作成・配布	平成24年7月発行 15,000部作成・配布(カラー版)	平成25年7月発行 15,000部作成・配布(カラー版)	20,000部作成・配布(15,000部→20,000部に増刷)	継続実施	子ども未来課 企画調整担当 054-221-1169	しずおか子育てハンドブック 市HP(子ども未来課)	1,296	1,099

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
18	終		「子育て支援マップ」の作成・配布	子育て支援の拠点となる児童館や子育て支援センターなどが掲載された地図情報や主な子育て支援サービスを紹介し、公共施設等へ配布します。	子育て支援マップを作成し、各施設又は市民に配付。 ○葵・駿河区版 4,850部 ○清水版 3,050部	平成22年度で終了	平成22年度で終了	平成22年度で終了	平成22年度で終了	平成22年度で終了	子ども未来課 企画調整担当 054-221-1169	子育て支援マップ	—	—
19	継		家庭児童相談事業	各区福祉事務所に家庭児童相談室を設置し、児童に関する様々な問題について、児童、家庭又は地域住民などからの相談に応じ、必要な助言を行います。	家庭児童相談室は、市内3ヶ所(葵・駿河・清水) 相談受付件数 1,285件	家庭児童相談室は、市内3ヶ所(葵・駿河・清水) 相談件数 1,431件	相談件数1,586件 市内3福祉事務所にて実施 (葵549件、駿河549件、清水488件)	市内3ヶ所で、児童に関する様々な相談に応じる。	市内3ヶ所で、児童に関する様々な相談に応じる。	市内3ヶ所で、児童に関する様々な相談に応じる。	子ども家庭課 総務担当 054-221-1161	市HP(各区保育児童課)	676	676
20	継	0歳	未熟児養育医療の給付	出生時の体重が2,000グラム以下又は未熟児性を有する乳児を対象に、入院医療費及び食事療養費を公費で負担します。	給付件数 443件	給付件数 396件	給付件数 350件	給付件数463件	給付件数395件	継続実施	保健予防課 医療援護担当 054-249-3170	市HP(保健予防課) チラシ 母子健康手帳	36,491	13,919
21	継重	0~3歳 保護者	子育てトーク事業	各地区の地区社会福祉協議会、主任児童委員等が中心となり、主に未就園児及びその保護者を対象に、親子の交流の場の提供、情報交換、子育て相談及び各種催し物等を実施します。	子育てトーク 32地区55事業	子育てトーク 33地区54事業	子育てトーク 38地区59事業	子育てトーク 42地区65事業	子育てトーク 48地区71事業	子育てトーク 36地区63事業	子ども未来課 子育て支援担当 054-221-1543	市HP(子ども未来課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」 子育てハンドブック 市広報紙 チラシ	2,180	2,180
22	継		あそび・子育ておしゃべりサロン事業	保育園において、親子の遊び場として園内開放したり、遊びの紹介、健康や食事に関するアドバイスや講座等を実施します。	全公立保育園で実施 市内の認可保育園(全ての公立及び多くの私立保育園)で実施	全公立保育園で実施 市内の認可保育園(全ての公立及び多くの私立保育園)で実施	全公立保育園で実施 市内の認可保育園(全ての公立及び多くの私立保育園)で実施	全公立保育園で実施 市内の認可保育園(全ての公立及び多くの私立保育園)で実施	全公立保育園で実施 市内の認可保育園(全ての公立及び多くの私立保育園)で実施	継続実施	子ども未来課 子育て支援担当 054-221-1543	市HP(子ども未来課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」 子育てハンドブック 市広報紙 チラシ	3,156	3,156
23	継		子育て支援センターの運営	地域の子育て支援機能の充実と子育ての不安感等を緩和することを目的に、未就園児及びその保護者を対象に、子育てに関する相談、情報提供、親子の交流の場を提供し、様々なイベントを実施します。	市内18か所で実施(内訳) センター型 15か所 ひろば型 2か所 児童館型 1か所 (センター型開設1か所、小規模型からひろば型へ転換1か所、廃止1か所)	市内18か所で実施(内訳) センター型 15か所 ひろば型 2か所 児童館型 1か所	市内18か所で実施(内訳) センター型 15か所 ひろば型 2か所 児童館型 1か所	市内18か所で実施(内訳) 一般型 16か所 機能強化型 1か所 連携型 1か所	市内18か所で実施(内訳) 一般型 14か所 機能強化型 3か所 連携型 1か所	市内20か所で実施	子ども未来課 子育て支援担当 054-221-1543	市HP(子ども未来課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」 子育てハンドブック 市広報紙 チラシ 静岡市子育て支援センターパンフレット	274,167	155,502
24	継重		子育て支援センターの整備	市域全体の均衡と地域性、地域の児童数などを勘案し、子育て支援センターの設置を進めます。	整備なし	整備なし	整備なし	整備なし	整備なし	○センター型 15か所 ○ひろば型 2か所 ○児童館型 3か所	子ども未来課 子育て支援担当 054-221-1543	—	0	0

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
25	継	0歳～就学前保護者	育児相談の実施(0歳児の育児相談等)	保健福祉センター内や保健師が地域に出向き、個別相談等の育児支援を実施します。	継続実施 587回 16,508人	継続実施 519回 16,891人	育児相談の実施 実施回数 464回 相談者 11,347人	育児相談の実施 実施回数 460回 相談者(見込) 9,300人	育児相談の実施	継続実施	葵健康支援課 054-249-3196 駿河健康支援課 054-285-8377 清水健康支援課 054-348-7981	市HP(健康づくり推進課) 市広報紙 チラシ 子育てハンドブック	No7に含む	No7に含む
26	継		地域に開かれた幼稚園づくり推進事業(子育てひろば)	幼稚園を開放し、地域の未就園児にふれあいや遊びの場を提供するとともに、育児に関する相談に応じます。	開催園、市立14園、私立19園 子育て広場実施回数472回 参加人数 未就園児10,685人 保護者 10,439人 満足度アンケート8.457点(10点満点)	開催園、市立14園、私立19園 子育て広場実施回数473回 参加人数 未就園児11,067人 保護者 10,695人 満足度アンケート8.470点(10点満点)	市立14園で2,286回実施し、未就園児3,654人、保護者3,489人参加。私立幼稚園19園では、158回実施し、未就園児7,341人、保護者6,910人参加した。(延べ人数)市立幼稚園に参加した保護者に満足度アンケートを行った結果、10点満点中8.13点だった。	市立14園で継続実施(教育総務課) 私立19園で継続実施(子ども未来課)	未就園児の集い(子育て広場)を計画的に実施。幼児には、ふれあいや遊びの場の提供、保護者には、仲間づくりや情報交換・育児相談の場とする。 市立園14園継続実施(教育総務課) 私立園19園継続実施(子ども未来課)	○幼稚園の幼児教育センター的役割の充実 ○市民への周知の充実 ○実施回数及び参加人数の増加	教育総務課 教育政策担当 054-354-2505 子ども未来課 企画調整担当 054-221-1169	市HP(教育総務課) 市広報紙 各幼稚園から配布される回覧板及びHP	(市立園) 886 (私立園) 2,131	(市立園) 886 (私立園) 2,131
27	継		児童手当等の支給	次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的として、児童を養育する者に手当を支給します。 *平成22年4月分から平成24年3月分までは、「子ども手当」として支給	継続実施 平成22年4月より、子ども手当として、中学校修了前の児童1人当たり月額13,000円を支給 所得制限なし 延べ児童数879,633人	継続実施 10月までは中学校修了前の児童1人当たり月額13,000円を、10月以降は対象者に応じて10,000円又は15,000円を支給 所得制限なし 延べ児童数1,048,698人	継続実施 中学校修了前の児童に手当を支給(3歳未満と小学生までの第3子は月額15,000円、その他の児童は月額10,000円) 24年6月より所得制限導入(所得超過者の児童は月額5,000円) 延べ児童数1,047,837人	継続実施 中学校修了前の児童に手当を支給 ○児童手当(所得制限限度額未満) 3歳未満と小学生までの第3子は月額15,000円、その他の児童は月額10,000円 ○特例給付(所得制限限度額以上) 児童1人につき月額5,000円 延べ児童数1,034,431人	継続実施 中学校修了前の児童に手当を支給 ○児童手当(所得制限限度額未満) 3歳未満と小学生までの第3子は月額15,000円、その他の児童は月額10,000円 ○特例給付(所得制限限度額以上) 児童1人につき月額5,000円 延べ児童数1,034,431人	継続実施 ○支給対象児童 中学校修了前の児童 ○支給額 3歳未満と、小学生までの第3子は、月額15,000円 その他の児童は月額10,000円 所得超過者の児童は月額5,000円	子ども家庭課 給付担当 054-221-1381	市HP(子ども家庭課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」 チラシ	11,235,009	1,727,999
28	継	0歳～中学生	交通遺児等福祉手当の支給	交通事故等により、生計維持者を亡くした児童の生活の向上と福祉の増進を図るため、中学校修了前の児童に対して、月額5,000円を支給します。	継続実施 対象児童数 延べ299人	継続実施 対象児童数 延べ297人	継続実施 対象児童数 延べ312人	継続実施 対象児童数 延べ300人	継続実施 対象児童数 延べ324人	継続実施 対象児童数 延べ300人	子ども家庭課 給付担当 054-221-1381	市HP(子ども家庭課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」 チラシ	1,620	1,620
29	継 ま		子ども医療費の助成	保護者の経済的負担を軽減し、子どもが適正な医療を受け健全な育成を図ることを目的に、医療費の一部を助成します。	継続実施 未就学児入院(現物給付) 4,978件 未就学児通院(現物給付)612,131件 小中学生入院(償還払い) 991件 所得制限なし 自己負担1歳以上の通院のみ1回500円(月4回まで)	継続実施 未就学児入院(現物給付) 3,967件 未就学児通院(現物給付)607,287件 小中学生入院(償還払い) 969件 所得制限なし 自己負担1歳以上の通院のみ1回500円(月4回まで)	小中学生の通院費の助成を拡大。 中学3年生まで入院とも現物給付 所得制限なし 自己負担は1歳以上の通院のみ1回500円(毎回徴収) 給付総件数1,050,190件	継続実施 入院:6,247件 通院:1,165,634件 所得制限:なし 自己負担金:1歳以上の通院のみ1回500円以内(毎回徴収)	継続実施 入院:6,014件 通院:1,209,893件 所得制限:なし 自己負担金:1歳以上の通院のみ1回500円以内(毎回徴収)	○助成対象者 中学校修了までの児童 ○助成対象経費 入院・通院の保険診療医療費(高額医療等を除く) ○所得制限なし ○自己負担 1歳以上の通院のみ1回500円以内(毎回徴収)	子ども家庭課 給付担当 054-221-1381	市HP(子ども家庭課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」 チラシ	2,237,188	2,137,134

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
30	継	0歳～18歳未満(継続申請の場合は20歳未満まで)	小児慢性特定疾患治療に係る医療の給付	児童(18歳未満)の慢性疾患のうち、特定の疾患について、その治療にかかる費用の一部を公費で負担し、その治療の研究促進を図ります。	給付件数 5,616件	給付件数 5,960件	給付件数 6,083件	給付件数 7,064件	給付件数 6,580件	継続実施	保健予防課 医療援護担当 054-249-3170	市HP(保健予防課) チラシ 母子健康手帳	145,211	72,621
31	継	0歳～概ね18歳保護者	子育て短期支援事業	育児疲れ・育児不安等の解消、児童の虐待防止及び子育て家庭への支援を図るため、児童福祉施設等において短期入所を実施します。	継続実施 市内2か所で実施 利用者 延べ106人	継続実施 市内3か所で実施 延べ296人	継続実施 市内3か所で実施 利用者数 延べ176人	継続実施 市内3か所で実施 利用者見込み 延べ189人	継続実施 市内3か所で実施 利用者見込み 延べ310人	継続実施 実施か所3か所 利用延べ人数 延べ330人	子ども家庭課 給付担当 054-221-1381	市HP(子ども家庭課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」 子育てハンドブック チラシ	1,765	883
32	継	0～39歳まで 保護者	子ども・若者相談の実施	39歳までの子ども・青少年とその家族や関係者が抱える性格・行動や進路などの悩みに対して、相談員が相談に応じます。(H24までは20歳までを対象)	面接相談269人(4,507回) 電話相談907件を実施	面接相談260人 4,968回 電話相談1,639件	面接相談325人 4,633回 電話相談1,505件	面接相談308人 3,848回 電話相談907件 (H25.12月末現在)	39歳までの子ども・若者とその家族や関係者が抱える性格・行動や進路などの悩みに対して、相談員が相談に応じます。	39歳までの子ども・若者とその家族や関係者が抱える性格・行動や進路などの悩みに対して、相談員が相談に応じます。	青少年育成課 子ども若者相談センター 054-221-1314	市HP(青少年育成課) パンフレット ポケットカード	11,994	9,776
33	継	1歳～就学前 保護者	健診事後フォロー教室の開催(パンダ教室、イルカの会など)	親子遊び、グループ遊びを通して、ことばや社会性を身につけ、集団になじめるようにしていくあそびの教室を開催します。	継続実施 115回 1,096人	継続実施 79回 799人	遊びなどを通しての指導 開催回数 78回 対象者数 809人	遊びなどを通しての指導 開催回数 77回 対象者数(見込) 760人	遊びなどを通しての指導	継続実施	葵健康支援課 054-249-3196 駿河健康支援課 054-285-8377 清水健康支援課 054-348-7981	市HP(健康づくり推進課) 子育てハンドブック チラシ	No7に含む	No7に含む
34	継	就学前	幼稚園就園奨励費補助金交付事業	私立幼稚園に通う園児の保護者に対し、入園料及び保育料の一部を補助金として交付します。	私立幼稚園 57園 補助金交付者 6,785人	私立幼稚園 57園 補助金交付人数 6,800人	私立幼稚園 58園 補助金交付人数 6,731人	私立幼稚園 59園 補助金交付人数 6,694人	継続実施	継続実施	子ども未来課 企画調整担当 054-221-1169	市HP(学事課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」 子育てハンドブック	978,666	652,444
35	継		要・準要保護児童生徒扶助費交付事業	経済的理由により就学困難な児童生徒を対象に、学用品費や通学費、修学旅行費、給食費、医療費等の必要な援助を行います。	小学生2,177人 中学生1,411人	小学生2,542人 中学生1,562人	小学生2,768人 中学生1,689人	小学生 2,819人 中学生 1,640人	継続実施	継続実施	学事課 就学援助担当 054-354-2532	市HP(学事課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」 チラシ	340,911	338,272
36	継	小学生 中学生	特別支援教育就学奨励費補助金交付事業	特別支援学級へ就学する児童生徒を養育する保護者の経済的負担を軽減するため、補助金を交付します。	小学生343人 中学生189人	小学生351人 中学生203人	小学生359人 中学生210人	小学生 369人 中学生 212人	継続実施	継続実施	学事課 就学援助担当 054-354-2532	市HP(学事課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」	21,120	10,560

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
37	継		遠距離通学費補助金交付事業	小学校4キロ、中山間地域の小学校3キロ、中学校6キロを超えて通学する児童生徒の保護者を対象に、補助金を交付します。	小学生451人 中学生540人	小学生466人 中学生507人	小学生450人 中学生472人	小学生 444人 中学生 451人	継続実施	継続実施	学事課 就学援助担当 054-354-2532	市HP(学事課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」	25,545	25,545
38	継	小学生 中学生 高校生	勤労者教育資金貸付金 利子補給事業	市内に在住する勤労者の教育費の負担を軽減し、福祉の増進を図るため、県労働金庫が勤労者に貸し付ける教育資金貸付金に対して、利子補給を行います。	利用者数 451人 利子補給 2.0%	利用者数 547人 利子補給率 1.0%	利用数481人 利子補給 1.0%	利用数478件 利子補給 1.0%	市内に在住する勤労者の負担を軽減し、福祉の増進を図るため、県労働金庫が勤労者に貸し付ける教育資金貸付金に対して、利子補給を行う。	継続実施	商業労政課 雇用労働政策担当 054-354-2430	市HP(商業労政課) チラシ	5,361	5,361
39	継	小学生 中学生 高校生 ～18歳未満 保護者	児童・家庭に関する専門的知識・技術を要する相談の実施	専門的な知識及び技術を必要とする相談に対し、必要に応じて児童の家庭状況、生活歴や性格、行動等について専門的な角度から総合的に調査、診断、判定を行い、それに基づく援助方針を定め、児童の援助を実施します。	相談件数 1,659件 相談種別 養護相談、 障害相談、非行相談、 育成相談、その他	相談件数 1,612件 相談種別 養護相談、 障害相談、非行相談、 育成相談、その他	相談件数 1,892件 相談種別 養護相談、 障害相談、非行相談、 育成相談、その他	相談件数 1,950件 相談種別 養護相談、 障害相談、非行相談、 育成相談、その他	相談件数 2,000件 相談種別 養護相談、 障害相談、非行相談、 育成相談、その他	継続実施	児童相談所 相談・判定担当 054-275-2871	年度版「事業のあゆみ」	0	0
40	継	高校生 大学生等	育英奨学金貸付事業	成績優秀で意欲がありながら経済的理由により修学が困難な高校生、短大生、専門学校、大学生又は大学院生を対象に、奨学金を貸与します。	高校生 23人 大学生等 177人	高校生 22人 大学生等 172人	高校生 16人 大学生等 165人	高校生 12人 大学生等152人	継続実施	継続実施	学事課 就学援助担当 054-354-2532	市HP(学事課) 市広報紙 子育て応援総合HP「ちゃむ」	41,892	0
41	継		篤志奨学金給付事業	修学困難な高校生、短大生及び大学生を対象に、教育奨励費(入学一時金)として奨学金を給付します。	高校生 12人 大学生等 11人	高校生 4人 大学生等 15人	高校生 12人 大学生等 11人	高校生 8人 大学生等 14人	継続実施	継続実施	学事課 就学援助担当 054-354-2532	市HP(学事課) 市広報紙 子育て応援総合HP「ちゃむ」	3,000	0
42	継	全市民	カウンセリング講座の実施	市民を対象にカウンセリング講座を開催し、カウンセリング理論や技術の普及を図ります。	3コース(6講座)、参加者数延べ246人。半年後に講座で学んだことの活用状況のアンケートを実施。回収率64%	6講座 A講座75人、B講座82人、C講座56人、D講座58人、E講座55人、F講座68人 参加者数延べ394人。半年後に講座で学んだことの活用状況のアンケートを実施。	5講座 A講座58人、B講座49人、C講座49人、D講座64人、E講座33人 参加者数延べ253人。半年後に講座で学んだことの活用状況のアンケートを実施。	5講座 A講座:71人、B講座58人、C講座67人、D講座53人、E講座56人 参加者数延べ293人。半年後に講座で学んだことの活用状況のアンケートを実施。	7月～8月にかけて5講座実施	継続実施	青少年育成課 子ども若者相談センター 054-221-1314	市HP(青少年育成課) 市広報紙(6/1予定) チラシ	507	507
43	継		「ノーバディズ・パーフェクト」講座の開催	1980年代にカナダ保健省が開発した親支援・虐待予防プログラムで、ファシリテーターのもと、参加者が他人の意見や価値観を尊重・共有し合い、寄り添いながら、子育てにおける様々な悩み・不安への解決方法を見出していく講座を開催します。	未実施	未実施 (平成24年度より実施)	子育て支援団体との共催により次の内容にて開催した。 ○時期:9月～11月(週1回の全6回) ○場所:駿河、清水区 の公的施設2会場 ○参加者:21名	子育て支援団体との共催により次の内容にて開催した。 ○:時期10月～11月(週1回の全6回) ○場所:葵、清水区 の公的施設2会場 ○参加者:18名	2開催(1開催6回)	継続実施	子ども未来課 企画調整担当 054-221-1169	市HP(子ども未来課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」 チラシ	519	519

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
44	継	学校法人	私立学校振興補助金交付事業	教育の振興及び児童生徒の保護者の経済的負担の軽減を図るため、市内の私立幼稚園、小学校、中学校及び高等学校に補助金を交付します。	学校法人 56校(園)	学校法人 56法人	学校法人 56法人	学校法人 56法人	継続実施	継続実施	子ども未来課 企画調整担当 054-221-1169	—	205,274	205,274
45	拡 ま	0歳～6歳	保育所施設整備事業	(待機児童解消加速化計画に基づく事業) 保育定員の増加を図るため、公立保育所を増築するほか、私立認可保育所の施設整備に対して補助します。	—	—	—	増築 3園 (定員 50人) 小規模修繕 1園 (定員 10人)	新園整備 3園 (定員180人) 分園整備 1園 (定員20人) 大規模修繕 1園 (定員10人) 増築 2園 (定員40人)	保育定員250人の確保	子ども未来課 新制度推進室	—	473,728	10,638
46	新	0歳～6歳	私立認定こども園整備費助成	(待機児童解消加速化計画に基づく事業) 保育定員の増加を図るため、認定こども園への移行を目指す法人に対する施設整備費を補助します。	—	—	—	未実施 (平成26年度より実施)	10～15園整備	保育定員300人の確保	子ども未来課 新制度推進室	—	756,868	103,236
47	新	0歳～6歳	認可外保育施設整備費助成	(待機児童解消加速化計画に基づく事業) 保育定員の増加を図るため、認可保育所等への移行を目指す認可外保育施設に対する施設整備費を補助します。	—	—	—	未実施 (平成26年度より実施)	4か所整備	保育定員112人の確保	子ども未来課 新制度推進室	—	86,550	9,618
48	継	0歳～6歳	施設型小規模保育事業費助成	(待機児童解消加速化計画に基づく事業) 保育定員の増加を図るため、施設型小規模保育の設置に必要な整備費等に対し補助します。	—	—	—	5か所整備	7か所整備	保育定員126人の確保	子ども未来課 新制度推進室	—	132,675	14,742
49	新	0歳～6歳	施設型小規模保育運営事業	(子ども・子育て支援新制度に向けた取組み) 待機児童解消加速化計画に基づきH25補正予算にて整備した施設型小規模保育の運営費を支弁します。	—	—	—	未実施 (平成26年度より実施)	施設設置者に対し運営費支弁 5か所	事業実施	保育課 保育政策担当 054-221-1191	—	111,138	55,569
50	新	子育て世帯	子育て世帯支援体制強化事業	(子ども・子育て支援新制度に向けた取組み) 新制度の円滑な実施に向け、保育所・幼稚園などの利用に関する利用者支援機能と、地域主体の子育て支援活動を強化します。	—	—	—	未実施 (平成26年度より実施)	・子育て支援センターに子ども未来サポーターを配置 3か所 各1人 ・各区保育児童課に保育コーディネーターを配置 3区 各1人	事業実施	子ども未来課 子育て支援担当 各区保育児童課	—	11,820	5,910
51	新	保育従事者	保育士確保対策事業	(子ども・子育て支援新制度に向けた取組み) 保育士の人材確保のため、支援センターを設置して求職者と求人者のマッチングを行うほか、潜在保育士の再就職を支援します。	—	—	—	未実施 (平成26年度より実施)	・保育士・保育所支援センターの設置 ・潜在保育士の再就職前研修の実施	事業実施	保育課 保育政策担当 054-221-1191	—	6,000	3,000

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
52	継	保育従事者	保育士等処遇改善事業費助成	保育士の人材確保対策を推進する一環として、保育士の処遇改善に取り組む保育所に対して補助します。	—	—	—	私立保育所 59園	私立保育所 59園	継続実施	保育課 保育政策担当 054-221-1191	—	148,195	0
53	新	教育・保育従事者	幼稚園教諭免許・保育士資格併有促進事業	(子ども・子育て支援新制度に向けた取組み) 保育教諭の確保のため、幼稚園教諭免許・保育士資格のどちらかを有する方に対し、もう片方の免許・資格を取得するための費用を助成します。	—	—	—	未実施 (平成26年度より実施)	免許・資格取得を希望する方に対する助成 100人	事業実施	子ども未来課 新制度推進室	—	10,000	5,000
合 計													17,320,940	5,580,829

(注1)「平成26年度当初予算額」の「合計」について、欄内にある「No.〇〇に含む」や「〇〇〇の一部」などの表現をしている予算額は、他事業と切り分けができないことや事業対象者に子ども以外を含んでいるなどの理由により、合計額に含めていません。

(注2)「平成25年度実績(見込)」については、平成26年9月頃にあらためて確定値を公表します。

(注3)本一覧表は、平成26年2月24日に取りまとめた状況です。

施策目標1「子どもを安心して生み、育てることができる環境づくり」
基本施策3「ひとり親家庭への支援」

※「区分」欄の説明

「継」⇒前年度から単に継続する事業、「新」⇒平成26年度からの新規事業、「重」⇒子どもプラン上の重点施策、「ま」⇒まちみがき戦略推進プラン事業、「拡」⇒平成26年度に拡大・拡充する事業、「終」⇒終了した事業

単位：千円

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
54	継		母子自立支援プログラム策定事業	児童扶養手当を受給している母子家庭の状況、ニーズ等に対応した自立支援プログラムを策定し、自立と就業を支援します。	継続実施 自立支援プログラム策定員1名配置	継続実施 自立支援プログラム策定員1名配置	継続実施 自立支援プログラム策定員1名配置	継続実施 自立支援プログラム策定員1名配置	継続実施 自立支援プログラム策定員1名配置	継続実施 ○自立支援プログラム策定員1名配置	子ども家庭課 給付担当 054-221-1381	市HP(子ども家庭課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」 市母子寡婦福祉連合会HP	1,701	701
55	継	母子家庭	母子家庭自立支援給付金事業	母子家庭の自立を支援するため、資格を取得するための養成機関の就業や就職に結びつく講座を受講する際に、給付金を支給します。	継続実施 自立支援教育訓練給付金 5件 高等技能訓練給付金 17件、189月分 修了一時金 4件	継続実施 自立支援教育訓練給付金 3件 高等技能訓練給付金 19件、208月分 修了一時金 6件	継続実施 自立支援教育訓練給付金 1件 高等技能訓練給付金 非課税9件、課税9件 修了一時金 非課税4件、課税2件	継続実施 自立支援教育訓練給付金 6件 高等技能訓練給付金 非課税10件、課税10件 修了一時金 非課税4件、課税2件	継続実施 自立支援教育訓練給付金 6件 高等技能訓練給付金 非課税6件、課税15件 修了一時金 非課税2件、課税6件	継続実施 ○自立支援教育訓練給付金 10件 ○高等技能訓練給付金 非課税12件、課税6件 ○修了一時金 非課税5件、課税3件	子ども家庭課 給付担当 054-221-1381	市HP(子ども家庭課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」 チラシ	20,812	5,203
56	継	母子家庭 寡婦	母子寡婦福祉資金の貸付	母子家庭等に経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、併せてその扶養している子どもの福祉を増進するため、修学資金、生活資金等の各種資金を貸付します。	継続実施 貸付件数 799件 貸付額 407,583千円	継続実施 貸付件数 829件 貸付額 417,305千円	継続実施 貸付件数 787件 貸付額 396,564千円	継続実施 貸付件数 827件 貸付額 412,335千円	継続実施 貸付件数 880件 貸付額 440,450千円	継続実施 ○貸付件数 900件 ○貸付額 485,550千円	子ども家庭課 給付担当 054-221-1381	市HP(子ども家庭課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」 チラシ	440,600	39,000
57	継	母子家庭 寡婦	児童福祉援護団体等への運営費補助	母子や寡婦の福祉の増進を図ることを目的に活動している児童福祉援護団体に対し、円滑な運営を図ることを目的に運営費を補助します。	継続実施 1団体	継続実施 1団体	継続実施 1団体	継続実施 1団体	継続実施 1団体	継続実施 ○対象1団体	子ども家庭課 給付担当 054-221-1381	市母子寡婦福祉連合会HP	1,526	1,526
58	継		児童扶養手当の支給	父又は母と生計を一にしていない児童が養育される家庭生活の安定と自立の促進に寄与するため、児童扶養手当を支給し、児童福祉の増進を図ります。(所得制限あり)	平成22年8月より、支給対象者を「父子家庭」に拡大 受給者数 母子 4,858人 父子 184人 その他 18人	継続実施 受給者数 母子 4,794人 父子 162人 その他 17人	継続実施 受給者数 約5,100人	継続実施 受給者数 約5,200人	継続実施 受給者数 約5,000人	継続実施 ○受給者数 約5,300人	子ども家庭課 給付担当 054-221-1381	市HP(子ども家庭課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」 チラシ	2,264,911	1,510,700
59	継	母子家庭	母子家庭等医療費の助成	所得税非課税世帯の母子家庭の母子や父子家庭の父子、両親のいない児童を対象に、母子家庭等の生活の安定と健康の保持を目的として、医療費を自動償還払いで助成します。	継続実施 医療費支払件数 57,272件	継続実施 医療費支払件数 62,776件	継続実施 医療費支払件数 56,767件	継続実施 医療費支払件数 57,000件	継続実施 医療費支払件数 49,818件	継続実施 ○医療費支払件数 54,800件	子ども家庭課 給付担当 054-221-1381	市HP(子ども家庭課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」 チラシ	147,846	147,796

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
60	継	父子家庭	母子家庭等日常生活支援事業	母子家庭等の福祉の増進を図るため、生活援助(食事の世話、掃除など:1時間単位)や子育て支援(乳幼児の保育など:2時間単位)を行う家庭生活支援員を派遣します。(利用者負担あり。0円~1,800円)	継続実施 生活援助 18件、121回、325.5時間 子育て支援 63件、264回、1,747時間	継続実施 生活援助 16件、90回、255.5時間 子育て支援 42件、231回、1,501時間	継続実施 生活援助 495.5時間 子育て支援 1,591.5時間	継続実施 生活援助 342時間 子育て支援 1,781時間	継続実施 生活援助 340時間 子育て支援 1,811時間	継続実施 ○生活援助 450時間 ○子育て支援 2,000時間	子ども家庭課 給付担当 054-221-1381	市HP(子ども家庭課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」 市母子寡婦福祉連 合会HP チラシ	2,225	1,108
61	継		ひとり親家庭生活支援事業	母子家庭や父子家庭の精神的支援や生活の安定を図るため、児童が悩みを気軽に相談できる大学生等(ホームフレンド)を派遣して、生活面での指導を行います。	継続実施 ホームフレンド 42名 派遣先世帯 38世帯 派遣回数 216回	継続実施 見込み ホームフレンド 38名 派遣先世帯 33世帯 派遣回数254回	継続実施 ホームフレンド 33名 派遣先世帯 27世帯 派遣回数 243回	継続実施 ホームフレンド34名 派遣先世帯32世帯 派遣回数192回	継続実施 ホームフレンド27名 派遣先世帯24世帯 派遣回数197回	継続実施 ○ホームフレンド30名 ○派遣先世帯36世帯 ○派遣回数192回	子ども家庭課 給付担当 054-221-1381	市HP(子ども家庭課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」 市母子寡婦福祉連 合会HP チラシ	1,548	774
62	継	父子家庭 母子家庭	父子家庭等福祉対策促進事業補助金	父子家庭やひとり親家庭の交流事業を行う団体に対し、事業費を補助します。	継続実施 2団体補助 (母子会と父子会)	継続実施 1団体補助 (母子会)	継続実施 1団体補助 (母子会のみ)	継続実施 1団体補助 (母子会のみ)	継続実施 1団体補助 (母子会のみ)	継続実施 ○補助対象1団体 (母子会のみ)	子ども家庭課 給付担当 054-221-1381	市社会福祉協議会 HP 市母子寡婦福祉連 合会HP	728	728
63	継	母子家庭 寡婦 父子家庭	母子家庭等就業・自立支援センター運営事業	母子家庭等の就業・自立を図るための事業を実施します。 (母子家庭、寡婦のみ対象の事業) 就業相談、職業紹介、就業支援講習会など (母子家庭、寡婦、父子家庭が対象の事業) 特別相談会、養育費等の相談、養育費セミナー、就業支援セミナー	継続実施 1か所 ※静岡県、浜松市と共同設置	継続実施 1か所 ※静岡県、浜松市と共同設置	継続実施 1か所 ※静岡県、浜松市と共同設置	継続実施 1か所 ※静岡県、浜松市と共同設置	継続実施 1か所 ※静岡県、浜松市と共同設置	継続実施 ○設置個所1か所 ※静岡県、浜松市と共同設置	子ども家庭課 給付担当 054-221-1381	市HP(子ども家庭課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」 県母子寡婦福祉連 合会HP チラシ	6,120	3,060
合 計													2,888,017	1,710,596

(注1)「平成26年度当初予算額」の「合計」について、欄内にある「No.〇〇に含む」や「〇〇〇の一部」などの表現をしている予算額は、他事業と切り分けができないことや事業対象者に子ども以外を含んでいるなどの理由により、合計額に含めていません。

(注2)「平成25年度実績(見込)」については、平成26年9月頃にあらためて確定値を公表します。

(注3)本一覧表は、平成26年2月24日に取りまとめた状況です。

施策目標1「子どもを安心して生み、育てることができる環境づくり」
基本施策4「子育てに配慮した生活環境の整備」

※「区分」欄の説明

「継」⇒前年度から単に継続する事業、「新」⇒平成26年度からの新規事業、「重」⇒子どもプラン上の重点施策、「ま」⇒まちみがき戦略推進プラン事業、「拡」⇒平成26年度に拡大・拡充する事業、「終」⇒終了した事業

単位:千円

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
64	継		公立保育園建替事業	老朽化している園舎について、建替工事を実施し、災害時等に収容避難所として相応しい建物にするとともに、乳幼児の安全な環境を確保します。	・服織保育園、清水飯田南保育園(継続実施) ・清水原保育園、清水飯田東保育園2園着手	清水飯田東保育園、清水原保育園(継続実施)	計画予定なし	計画予定なし	計画予定なし	未実施園5園実施	保育課 保育政策担当 054-221-1191	—	0	0
65	継ま	0歳～就学前	私立保育園の耐震補強推進	耐震性に劣る私立保育園の耐震補強工事の一部を補助することにより、乳幼児の安全な環境を確保します。	・麻華保育園、ふたば保育園の2園実施	風の子保育園	麻機保育園	矢部保育園	こぐま保育園	未実施園のうち、6園実施	保育課 保育政策担当 054-221-1191 (H26年度 子ども未来課)	—	165,400	44,134
66	継		静岡地域材活用促進事業	木造公益的施設(保育園、幼稚園等)を建設する際、一定の条件を満たした場合に建築用木材を提供します。	幼稚園 2園 清水白百合幼稚園 若杉幼稚園	静岡ホーム、るり幼稚園の2園	幼稚園 1園 丸子幼稚園	実績なし	継続実施 子育て支援以外の福祉施設等にも補助対象拡大	継続実施	中山間地振興課 森林・林業担当 054-294-8807	市HP(中山間地振興課)、 静岡地域材活用住宅推進協議会HP	10,000 千円 の一部	0
67	継ま		私立保育園の園庭グリーン化事業	私立保育園の園庭芝生化に対して補助することにより、芝生化を促進し、児童の体力向上、保育環境の向上、地域コミュニティの活性化を図ります。	未実施	小鹿保育園ほか6園実施	ほのぼの保育園 ほか1園実施	清水みらい保育園	5園実施予定	8園×2年間=16園 5園×2年間=10園 計26園程度	保育課 保育政策担当 054-221-1191	—	2,500	2,500
68	継	0歳～就学前 保護者	公共施設への授乳室・おむつ替えスペース等整備	市で新設・建替等を行う公共施設については、公共施設の利用しやすさに配慮し、授乳室やおむつ替えスペース等の確保に努めます。	未実施	未実施	新設・建替時に建物用途を勘案しつつ、授乳室やおむつ替えスペース、多目的トイレ等の設置に配慮するよう推進。	新設・建替時に建物用途を勘案しつつ、授乳室やおむつ替えスペース、多目的トイレ等の設置に配慮するよう推進。	継続実施	全庁的な取組への周知	全庁的取組	—	0	0
69	継		特定優良賃貸住宅子育て支援制度	特定優良賃貸住宅において、子育てに適した良好な住環境を提供するため、新規入居世帯で収入基準を満たしており、小学校6年生以下の子どもを扶養している世帯に対し、家賃減額補助を実施します。	継続実施 入居件数 32件	継続実施 入居件数 37件	継続実施 入居件数 44件	継続実施 入居件数50件	継続実施 入居件数 54件	70件程度	住宅政策課 企画担当 054-221-1590	市HP(住宅政策課) パンフレット	20,643	10,322
70	継	0歳～小学生 保護者	子育て支援期限付き入居制度	公営住宅において、子育てに適した良好な住環境を提供するため、40歳以下の若年世帯で小学校6年生以下の子どもを扶養する世帯に対し、期限付き入居制度を実施します。	入居件数 42件 辞退12件	応募戸数 34戸のうち 入居件数 22件	応募戸数 61戸のうち 入居件数 36件	応募戸数 50戸程度 入居件数40件	継続実施 入居件数 35件	入居件数 172件程度	住宅政策課 管理担当 054-221-1132	市HP(住宅政策課) 市広報紙	0	0
71	継		子育て世帯住宅購入資金利子補給事業	市内に定住したいと考えている子育て世帯に対し、子育て期間中の住宅ローン利子の一部を補給することで、住宅を購入しやすい環境を整えます。	平成22年9月1日より募集開始。 1件当り購入価格20,000千円、年率0.3%を上限とし、最大60千円/年を支給。 利用者数 25件	継続実施 利用者数 187件	継続実施 利用者数 243件	継続実施 利用者数 290件	継続実施 利用者数 350件	継続実施 (利用者数 410件)	住宅政策課 管理担当 054-221-1132	市HP(住宅政策課) 市広報紙 パンフレット	20,475	10,238

掲載 No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 実績(見込)	平成26年度 取組内容(計画)	平成26年度末 目標値	担当課・連絡先	事業の詳細 が分かる媒体等	平成26年度 当初予算額	
													予算額	うち一財
72	継		子育て世帯優先宅地分譲事業	公営住宅の建て替え等で生じた跡地について、子育て世帯に優先的に提供することにより、個人住宅を購入しやすい環境を整えます。	10区画中8区画を売却	6区画中6区画を売却	2区画を売却	2区画を提供予定	5区画を提供予定	計30区画程度を提供	住宅政策課 管理担当 054-221-1132	市HP(住宅政策課) 市広報紙 パンフレット	2,148	2,148
73	継	就学前 小学生 中学生 高校生	学校の安全対策	園児や児童、生徒が安全で安心して生活が送れるよう、学校保健安全法に基づく安全点検を実施します。	市内の全幼・小・中・高校146校で実施	市内の全幼・小・中・高校146校で実施	市内の全幼・小・中・高校146校で実施	市内の全幼・小・中・高校145校で実施	市内の全幼・小・中・高校145校で実施	毎年度、全幼・小・中・高校145校で実施	学校教育課 保健担当 054-354-2518	—	0	0
74	継	市民	子育て世帯居住支援情報提供事業	子育て世帯に対する居住支援の情報を集約し、情報提供を行うことにより、住宅の購入及び賃借をしやすい環境を整え、子育て世帯の市内定住の促進を図る。	未実施	情報収集 民間企業へのアンケート実施 HPの開設	情報収集 HPの更新	情報収集 HPの更新	継続実施	継続実施	住宅政策課 企画担当 054-221-1590	市HP(住宅政策課)	0	0
合 計													211,166	69,342

(注1)「平成26年度当初予算額」の「合計」について、欄内にある「No.〇〇に含む」や「〇〇〇の一部」などの表現をしている予算額は、他事業と切り分けができないことや事業対象者に子ども以外を含んでいるなどの理由により、合計額に含めていません。

(注2)「平成25年度実績(見込)」については、平成26年9月頃にあらためて確定値を公表します。

(注3)本一覧表は、平成26年2月24日に取りまとめた状況です。

施策目標2「子育てと仕事の両立を支援する環境づくり」
基本施策1「多様な保育ニーズに対応するための支援」

※「区分」欄の説明

「継」⇒前年度から単に継続する事業、「新」⇒平成26年度からの新規事業、「重」⇒子どもプラン上の重点施策、「ま」⇒まちみがき戦略推進プラン事業、「拡」⇒平成26年度に拡大・拡充する事業、「終」⇒終了した事業

単位:千円

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額		
													予算額	うち一財	
75	拡 重 ま	0歳～2歳	待機児童解消事業	年度途中において、保育園の入所要件があるにもかかわらず、入所を希望する保育園の定員超過等により入所できない0、1、2歳児を待機児童園で一時的に預かります。	静岡市待機児童園を駿河区に設置。平成22年10月供用開始 ※定員72人 利用者数 54人	定員72人 利用者数延べ430人		・継続実施(駿河区) ※定員72人 ・清水待機児童園の整備着手。 平成25年10月運営開始予定。 ※定員48人	・継続実施(駿河区) ※定員72人 ・新規実施(清水区) ※定員48人	・葵待機児童園の整備 平成26年10月運営開始予定 ※定員24人	3か所(各区1か所)	保育課 保育政策担当 054-221-1191	市HP(保育課)	No.77 に含む	No.77 に含む
76	継		一時預かり事業(子育て支援センター)	家庭における保護者の疾病や育児疲れ等により一時的に保育が必要となる場合、静岡中央子育て支援センターや清水中央子育て支援センターで子どもを一時的に預かります。	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	子ども未来課 子育て支援担当 054-221-1543	市HP(子ども未来課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」 子育てハンドブック 市広報紙 静岡市子育て支援センターパンフレット	No.23 に含む	No.23 に含む	
77	継 ま		通常保育事業	保護者の就労又は疾病その他の理由により、子どもが保育に欠ける場合において、保育園で保育を行います。	104園 (公立46園、私立58園) ○3歳未満児 4,454名 ○3歳以上児 7,371名	104園 (公立45園、私立59園) ○3歳未満児 4,504名 ○3歳以上児 7,224名	継続実施104園 (公立45園、私立59園)	継続実施104園 (公立45園、私立59園)	継続実施104園 (公立45園、私立59園)	○3歳未満児 4,237名 ○3歳以上児 5,907名	保育課 保育政策担当 054-221-1191	市HP(保育課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」 市広報紙(9/1号) 子育てハンドブック	9,163,833	5,522,301	
78	継	0歳～就学前	山間地保育事業	保護者の就労又は疾病その他の理由により、子どもが保育に欠ける場合において、保育園で保育を行います。	継続実施(2園実施)	継続実施(2園実施)	継続実施(2園実施)	継続実施(2園実施)	継続実施(2園実施)	継続実施	保育課 保育政策担当 054-221-1191	市HP(保育課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」 子育てハンドブック	No.77 に含む	No.77 に含む	
79	拡		延長保育事業	保護者の就労形態の多様化、長時間の勤務等に対応するため、通常の保育時間を超えて概ね午後7時までの延長保育を実施し、子育てと就労の両立を支援します。	64園で継続実施	64園で継続実施 2園(清水聖母保育園、清水みらい保育園)で新規実施	66園で継続実施 1園(麻機保育園)で新規実施	66園で継続実施 1園(こすもす保育園)で新規実施	67園で継続実施 公立2園(上土保育園、高松保育園)、私立1園(美和保育園)で新規実施予定	67園	保育課 保育政策担当 054-221-1191	市HP(保育課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」 子育てハンドブック	No.77 に含む	No.77 に含む	
80	継		障害児保育事業	保護者の就労又は疾病その他の理由により保育に欠け、心身に障害のある子どもを保育園において一般の子どもとともに集団保育します。	指定園(14園)を中心に実施。 受入児童数 429人	指定園(13園)を中心に実施。 受入児童数 延べ5,784人	指定園(13園)を中心に継続実施。	指定園(13園)を中心に継続実施。	指定園(13園)を中心に継続実施	継続実施	保育課 保育政策担当 054-221-1191	市HP(保育課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」 子育てハンドブック	No.77 に含む	No.77 に含む	

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
81	継重		一時預かり事業(保育園)	通常保育園を利用していない家庭における保護者の疾病や育児疲れ等により一時的に保育が必要となる場合、保育園で子どもを一時的に預かります。	98園で継続実施 2園新規実施	99園で継続実施	100園で継続実施	100園で継続実施	100園で継続実施	104園(全園実施)	保育課 保育政策担当 054-221-1191	市HP(保育課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」 子育てハンドブック	No.77 に含む	No.77 に含む
82	継	0歳~小学生	ファミリー・サポート・センター事業	学校等への送迎、一時的・緊急的な預かりなどを必要とする子育て家庭に対し、会員組織の相互援助によるサポートを行います。	会員数 3,458人 まかせて・どっちも会員講習会 6回 会員交流会 1回	会員数 3,561人 まかせて・どっちも会員講習会 6回 会員交流会 1回	会員数 3,731人 まかせて・どっちも会員講習会 6回 会員交流会 7回	会員数 3,864人 まかせて・どっちも会員講習会 4回 会員交流会 4回	会員数 4,000人	会員数 4,300人	子ども未来課 子育て支援担当 054-221-1543	市HP(子ども未来課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」 市広報紙 子育てハンドブック パンフレット	19,480	9,740
83	継		緊急サポートセンター事業	病期中若しくは病気の回復期にある子どもを保育してくれる会員と預けたい会員による会員組織の相互援助によるサポートを行います。	会員数 805人	会員数 993人	会員数 1,154人	会員数 1,209人	会員数 1,300人	会員数 900人	子ども未来課 子育て支援担当 054-221-1543	市HP(子ども未来課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」 市広報紙 子育てハンドブック パンフレット	9,863	4,931
84	拡 ま	就学前	病児・病後児保育事業	子どもが病期中若しくは病気の回復期であり、集団保育が困難な期間に、その子どもの一時預かりを行い、保護者の子育てと就労の両立を支援します。	葵区1か所 利用者数 延べ297人	葵区1か所 利用者数 延べ256人	・継続実施(葵区) ・清水病児・病後児保育室の整備着手。(待機児童園に併設)平成25年10月運営開始予定。	・継続実施(葵区) ・新規実施(清水区)	駿河区で新規実施予定	3か所(各区1か所)	保育課 保育政策担当 054-221-1191	市HP(保育課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」 子育てハンドブック	No.77 に含む	No.77 に含む
85	継	小学生	放課後児童クラブの運営	保護者が就労等により昼間家庭にいない児童(概ね小学1~3年生)の健全な育成を目的に、小学校や児童館等に専用室を設けて、家庭に代わる遊びや生活の場を提供します。	小学校1年生~3年生の利用者数 3,217人 ※クラブ数 74か所 ※受入可能人数 4,445人	小学校1年生~3年生の利用者数 3,448人 ※クラブ数 75か所 ※受入可能人数 4,526人	継続実施 ・クラブ数 75か所 ・受入可能人数 4,509人	継続実施 ※クラブ数 76か所 ※受入可能人数 4,578人	継続実施 ※クラブ数 76か所 ※受入可能人数 4,578人	継続実施 ※クラブ数 75か所 ※受入可能人数 4,526人	子ども未来課 子育て支援担当 054-221-1543	市HP(子ども未来課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」 市広報紙	415,030	312,331
86	継重		放課後児童クラブの整備	待機児童の多いクラブや環境整備が必要なクラブを中心に整備します。	整備なし	拡張 2か所 (足久保児童クラブ、南薬科児童クラブ)	新規の施設整備は実施しなかったが、入会希望の増加に対応するため、平成25年度の沓谷簡易児童館を児童クラブ室として使用することとした。	各クラブの待機児童の状況等により、拡張して対応する。	各クラブの待機児童の状況等により、拡張して対応する。	各クラブの待機児童の状況等により、拡張して対応する。	子ども未来課 子育て支援担当 054-221-1543	—	0	0
87	新	0歳~小学校入 学前	事業所内保育施設設置費助成事業	子育て等による離職者の減少や、女性が活躍できる環境整備を推進するため、事業所内保育施設を設置する企業に対し助成金を支給します。	—	—	—	未実施 (平成26年度より実施)	助成金の支給	1事業所	商業労政課 雇用労働政策担当 054-354-2430	※予定 市HP(商業労政課) チラシ	7,670	7,670
合 計													9,615,876	5,856,973

(注1)「平成26年度当初予算額」の「合計」について、欄内にある「No.〇〇に含む」や「〇〇〇の一部」などの表現をしている予算額は、他事業と切り分けができないことや事業対象者に子ども以外を含んでいるなどの理由により、合計額に含めていません。

(注2)「平成25年度実績(見込)」については、平成26年9月頃にあらためて確定値を公表します。

(注3)本一覧表は、平成26年2月24日に取りまとめた状況です。

施策目標2「子育てと仕事の両立を支援する環境づくり」
基本施策2「多様な働き方の実現に向けた取組の推進」

※「区分」欄の説明

「継」⇒前年度から単に継続する事業、「新」⇒平成26年度からの新規事業、「重」⇒子どもプラン上の重点施策、「ま」⇒まちみがき戦略推進プラン事業、「拡」⇒平成26年度に拡大・拡充する事業、「終」⇒終了した事業

単位：千円

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
88	継	全市民	仕事と家庭両立支援セミナー等の開催	職業生活と家庭生活との両立に役立つ知識、心構え等を学ぶセミナー等の開催を通して、就労環境の改善を奨励します。	市単独開催 1回 参加者数 26人 共催 1回 参加者数 101人	市単独開催 1回 参加者数 23人 共催 0回	市単独開催 1回 参加者数 39人 共催 0回	県との共催によるシンポジウム開催 1回 参加者数 255人	県との共催によるシンポジウムの開催	継続実施	商業労政課 雇用労働政策担当 054-354-2430	市HP(商業労政課) 市広報紙 チラシ	0	0
89	継重	全市民事業所	ワーク・ライフ・バランス啓発事業	一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任や生産性の向上に努めるとともに、家庭や地域生活などにおいても多様な生き方が選択できるような社会を実現するため、講演会やシンポジウムなどの啓発事業を開催します。	○女性会館での講座開催 ○講演会「ストレスとワーク・ライフ・バランス」の開催 参加者数43人 ○企業を対象とする実践講座開催(内閣府と共催)参加者数 53人 ○市民向け啓発講演会開催 参加者数 271人	○女性会館での講座開催 ○男女共同参画フォーラムの開催 参加者数444人 ○市民向け啓発講演会の実施 参加者数31人	○女性会館での講座開催 ○市民向け啓発講演会の開催 参加者数30人 ○庁内職員を対象としたWLBに対する意識調査の実施。	○女性会館での講座開催 ○広報9月1日号特集記事掲載(3局連携事業、幹事課:商業労政課) ○ワーク・ライフ・バランス啓発キャンペーン実施(3局連携事業、幹事課:商業労政課) ○ワーク・ライフ・バランスシンポジウム開催(3局連携事業、幹事課:商業労政課) ○パネル展示等によるワーク・ライフ・バランスキャンペーンを実施(商業労政課)	○女性会館での講座開催 ○ワーク・ライフ・バランス推進記念シンポジウム開催 ○パネル展示等によるワーク・ライフ・バランスキャンペーンを実施(商業労政課)	毎年度、講演会等1回以上開催。	男女参画・市民協働推進課 男女共同参画担当 054-221-1349 子ども未来課 企画調整担当 054-221-1169 商業労政課 雇用労働政策担当 054-354-2430	市HP(男女参画・市民協働推進課、子ども未来課、商業労政課) 市広報紙 周知用チラシ	指定管理料に含む 1,000 (男女参画) 0 (子ども未来・商業労政)	指定管理料に含む 1,000 (男女参画) 0 (子ども未来・商業労政)
90	継		定時退庁・定時退社キャンペーンの実施検討	定時退庁・定時退社キャンペーンについて、他都市の実施状況等を調査し、その実施方法等について検討します。	未実施	政令市の実施状況について調査	キャンペーンの実施方法について検討した。	○街頭啓発キャンペーンを実施、市役所フロアスペースでパネル展示時に啓発物を配付、推進	○ワーク・ライフ・バランス推進記念シンポジウム開催時、定時退庁・定時退社を啓発	計画期間内にキャンペーン実施方法等について決定。	男女参画・市民協働推進課 男女共同参画担当 054-221-1349 商業労政課 雇用労働政策担当 054-354-2430	—	0	0
91	継	事業所	ワーク・ライフ・バランス推進事業所表彰事業	ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組を積極的に推進している市内事業所を表彰するとともに、その取組内容を市HP等で広く紹介します。	大賞 3社	大賞 1社 特別賞 1社 奨励賞 1社	大賞 1社 特別賞 1社 奨励賞 1社	大賞 2社	継続実施 名称を「女性の活躍応援事業所表彰(仮)」に変更し、女性の活躍を応援する取組を積極的に推進している市内事業所を表彰するとともに、その取組内容を市HP等で広く紹介する。	継続実施	商業労政課 雇用労働政策担当 054-354-2430	市HP(商業労政課) 市広報紙 チラシ	263	263
合 計													263	263

(注1)「平成26年度当初予算額」の「合計」について、欄内にある「No.〇〇に含む」や「〇〇〇の一部」などの表現をしている予算額は、他事業と切り分けができないことや事業対象者に子ども以外を含んでいるなどの理由により、合計額に含めていません。

(注2)「平成25年度実績(見込)」については、平成26年9月頃にあらためて確定値を公表します。

(注3)本一覧表は、平成26年2月24日に取りまとめた状況です。

施策目標2「子育てと仕事の両立を支援する環境づくり」
基本施策3「男性の子育ての推進」

※「区分」欄の説明

「継」⇒前年度から単に継続する事業、「新」⇒平成26年度からの新規事業、「重」⇒子どもプラン上の重点施策、「ま」⇒まちみがき戦略推進プラン事業、「拡」⇒平成26年度に拡大・拡充する事業、「終」⇒終了した事業

単位：千円

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
92	拡	0歳～小学生とその保護者	子育てパパトーク事業	普段仕事が忙しい等の理由で子どもと触れ合う機会が少なかったり、子育てに携わっていない父親が、子どもと一緒に参加し、親子で遊びふれあうとともに、子育てに関する情報提供や子育て相談も実施し、母親の子育ての軽減や父親同士の交流、男性の子育ての推進を目的に実施します。	市内5か所で実施	市内5か所で実施	市内6か所で実施	市内4か所で実施	市内5か所で実施	市内20か所で実施	子ども未来課 子育て支援担当 054-221-1543	市HP(子ども未来課) 静岡市子育て応援総合HP「ちゃむ」 子育てハンドブック	150	150
93	継	保護者(父親)	「父親のワーク・ライフ・バランス」(父親向けハンドブック)の配布	仕事と家庭(子育て)の両立には父親の協力が必要であるため、父親の子育てへの関わり方・役割などを掲載した啓発冊子「父親のワーク・ライフ・バランス」を各種イベントの際に配布します。	平成21年度版(厚生労働省)を作成し、関係機関や各種イベント時に配布 3,500冊作成	平成21年度版の冊子を年度中開催した各種イベント時に配布 3,500冊作成	平成23年度版(厚生労働省:平成24年1月改訂)を作成し、関係機関や各種イベント時に配布 3,500冊作成	平成24年度版(厚生労働省)を作成し、関係機関や各種イベント時に配布 3,500冊作成	平成24年度版の冊子を年度中に開催した各種イベント時に配布	隔年で最新版を作成し、毎年度、関係機関や各種イベント時に配布	子ども未来課 企画調整担当 054-221-1169	啓発冊子「父親のワーク・ライフ・バランス」	0	0
94	継	全市民	情報誌「パザパ」の発行	地域社会や事業所、学校における男女共同参画の推進に関する情報を取り上げ、市民生活における男女共同参画について啓発を進めるため、情報誌「パザパ」を年2回発行します。	年2回発行	年2回発行 (4,100部×2回)	年2回発行 (4,100部×2回)	年2回発行 (4,100部×2回)	年2回発行 (4,100部×2回)	継続実施	男女参画・市民協働推進課 男女共同参画担当 054-221-1349	市HP、市内公共施設へ情報誌配付	637	637
合 計													787	787

(注1)「平成26年度当初予算額」の「合計」について、欄内にある「No.〇〇に含む」や「〇〇〇の一部」などの表現をしている予算額は、他事業と切り分けができないことや事業対象者に子ども以外を含んでいるなどの理由により、合計額に含めていません。

(注2)「平成25年度実績(見込)」については、平成26年9月頃にあらためて確定値を公表します。

(注3)本一覧表は、平成26年2月24日に取りまとめた状況です。

施策目標3「子どもの心身の健やかな育ちを支える環境づくり」
基本施策1「子どもの健やかな心身をはぐむための支援」

※「区分」欄の説明

「継」⇒前年度から単に継続する事業、「新」⇒平成26年度からの新規事業、「重」⇒子どもプラン上の重点施策、「ま」⇒まちみがき戦略推進プラン事業、「拡」⇒平成26年度に拡大・拡充する事業、「終」⇒終了した事業

単位：千円

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
95	継	妊産婦保護者	栄養相談	妊娠期の食事や産後の離乳食・幼児食における不安や悩みについて、各保健福祉センターで面談や電話により、個別に相談を受けます。	葵区及び駿河区は随時相談対応 清水区は定期的に相談日を設定して実施 相談件数合計(見込) 420件見込	葵区及び駿河区は随時相談対応 清水区は定期的に相談日を設定して実施 相談件数合計 472件	葵区及び駿河区は随時相談対応 清水区は定期的に相談日を設定して実施 相談件数 577件	葵区及び駿河区は随時相談対応 清水区は定期的に相談日を設定して実施 相談件数 410件(見込)	継続実施	継続実施	葵健康支援課 054-249-3196 駿河健康支援課 054-285-8377 清水健康支援課 054-348-7981	市HP(健康づくり推進課)	No.7 に含む	No.7 に含む
96	継		訪問栄養指導	各種健診や保健師訪問により、妊娠期の食事や産後の離乳食・幼児食等について不安がある、若しくはフォローが必要と判断され来所での面談が困難な場合、訪問による個別指導を行います。	継続実施 訪問栄養指導件数 4件	継続実施 訪問栄養指導件数 4件	訪問件数 5件	継続実施 訪問栄養指導件数(見込) 3件	継続実施 訪問栄養指導件数(見込) 5件	継続実施	葵健康支援課 054-249-3196 駿河健康支援課 054-285-8377 清水健康支援課 054-348-7981	—	0	0
97	継	0歳	乳児健康診査の実施	生後4か月児や10か月児に対し、乳児の疾病の早期発見と適切な保健指導を図るため、公費負担の受診票を交付し、医療機関への受診を勧奨します。	受診人数 4か月児 5,705人 (受診率 98.1%) 10か月児 5,285人 (受診率 91.7%)	4か月対象者数 5,865人 受診人数 (受診率 98.0%) 4か月児 5,748人 (受診率 98.0%) 10か月対象者数 5,952人 10か月児 5,514人 (受診率 92.7%)	〇4か月児健診 対象者数 5,526人 受診者数 5,387人 ※受診率 97.5% 〇10か月児健診 対象者数 5,648人 受診者数 5,265人 ※受診率 93.2%	受診人数(見込) 4か月児 5,320人 (受診率 97.7%) 10か月児 5,170人 (受診率 91.9%)	受診人数(計画) 4か月児 5,650人 (受診率 97.9%) 10か月児 5,400人 (受診率 92.5%)	〇4か月児受診率 98.0% 〇10か月児受診率 93.0%	健康づくり推進課 母子保健担当 054-221-1574	市HP(健康づくり推進課) 市広報紙 子育てハンドブック	59,118	59,118
98	継		9か月児歯の教室の開催	9か月前後の乳児を対象に、むし歯予防やお口の発達に関する教室や相談を開催します。	開催回数104回 参加者数 2,415人	開催回数102回 参加者数 2,358人	開催回数 102回 参加者数 2,274人	開催回数 102回 参加者数 2,230人	開催回数 102回 参加者数 2,230人	継続実施	葵健康支援課 054-249-3196 駿河健康支援課 054-285-8377 清水健康支援課 054-348-7981	市HP(健康づくり推進課) 子育てハンドブック	No.7 に含む	No.7 に含む
99	拡		先天性代謝異常等の検査の実施	市内医療機関等で出生する新生児に対し、フェニルケトン尿症等の先天性代謝異常による障害の発生予防や異常の早期発見のため、その検査を保護者が希望した場合、市は検査費用を負担します。	先天性代謝異常検査 6,692件 先天性甲状腺機能低下症検査 6,614件	先天性代謝異常検査 6,532件 先天性甲状腺機能低下症検査 6,487件	先天性代謝異常検査 6,252件 先天性甲状腺機能低下症検査 6,200件	タンデムマス法を導入(10月～) 先天性代謝異常検査 6,600件(見込) 先天性甲状腺機能低下症検査 6,500件(見込)	検査件数(計画) 先天性代謝異常検査 6,500件 ガラクトース血症検査 6,500件 先天性副腎過形成症検査 6,500件 先天性甲状腺機能低下症検査 6,500件	継続実施	健康づくり推進課 母子保健担当 054-221-1574	市HP(健康づくり推進課) チラシ	20,848	20,848

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
100	継	0～3歳保護者	新生児・乳幼児訪問事業	新生児・乳幼児の健康を守るため、保健師・助産師が家庭を訪問し、発育、栄養、生活環境又は疾病予防等に関する必要な保健指導を行います。	産婦訪問 延べ5,632人訪問 乳幼児訪問 延べ10,930人訪問	産婦訪問 延べ6,089人訪問 乳幼児訪問 延べ11,624人訪問	産婦訪問 延べ5,824人 乳幼児訪問 延べ12,194人	産婦訪問(見込) 延べ6,750人 乳幼児訪問(見込) 延べ11,670人	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 母子保健担当 054-221-1574 葵健康支援課 054-249-3196 駿河健康支援課 054-285-8377 清水健康支援課 054-348-7981	市HP(健康づくり推進課) 市広報紙 チラシ	15,609	12,484
101	継	0歳～就学前保護者	乳幼児むし歯予防事業	市と歯科医師会との協働により、乳幼児とその保護者を対象としたむし歯予防事業を実施します。	母親教室参加者数 1,258組 マタニティ教室 23回 341人 フッ素塗布 750人 むし歯予防教室 22回 756人 歯みがき巡回指導 111回 10,484人	母親教室参加者数 1,336組 マタニティ教室 28回 514人 むし歯予防教室 17回 610人 歯みがき巡回指導 123回 11,175人	母親教室参加者数 36回 1,452組 むし歯予防教室 17回 参加者数877組 マタニティ教室はNo.7へ	母親教室参加者数 32回 1,380組 むし歯予防教室 17回 参加者数360組	母親教室参加者数 32回 1,380組 むし歯予防教室 17回 参加者数360組	継続実施	健康づくり推進課 健康政策担当 054-221-1571	チラシ 「はじめてママのひとロノート」(歯科医師会作成) 「こんなことをしています」(歯科医師会作成)	No.111 に含む	No.111 に含む
102	継	0歳～就学前保護者	おやこ食育教室の開催	規則正しい食習慣のすすめ、おやつの内容と適量、食事における悩み等のテーマに基づき、紙芝居やエプロンシアターを取り入れた講話と調理体験、試食を行います。	市内全保健福祉センターで実施 開催回数 26回	市内全保健福祉センターで実施 開催回数 25回 参加者 187組	市内全保健福祉センターで実施 開催回数 25回 参加者 210組	市内全保健福祉センターで実施 開催回数 25回(見込) 参加者 200組(見込)	開催予定回数 25回 参加者予定人数 200組	継続実施	葵健康支援課 054-249-3196 駿河健康支援課 054-285-8377 清水健康支援課 054-348-7981	市HP(健康づくり推進課) 市広報紙 チラシ 子育てハンドブック	No.7 に含む	No.7 に含む
103	継	0歳～小学生保護者	親子参加型教室等の開催	気楽に親子でスポーツをする機会をつくり、子どもの健全な心身の育成と向上心を高め、同世代の親の交流を図ることを目的とし、各体育館、運動場又はプール等を利用し、指定管理者主催によるスポーツ教室を開催します。	体育館等11教室 プール2教室を年3・4期で実施	各体育館・運動場等で実施 体育館 252回 運動場・プール138回	各体育館・運動場等で実施 体育館 252回 運動場・プール136回	各体育館・運動場等で実施 体育館 250回 運動場・プール131回	各体育館・運動場等で実施 体育館約250回 運動場・プール約134回	継続実施	スポーツ振興課 管理担当 054-221-1071	市HP(スポーツ振興課) 指定管理者HP 市広報紙 チラシ	4,089	4,089
104	継	0歳～概ね18歳	予防接種の実施	感染症の発生やまん延を防ぐため、児童等に対して予防接種を実施します。	1 定期接種実施件数 103,220件 2 子宮頸がん等ワクチン接種事業による任意接種実施件数 (平成23年2月から平成23年3月まで) ①子宮頸がん予防 2,936件 ②ヒブ 4,768件 ③小児用肺炎球菌 5,137件	1 定期接種実施件数 100,900件 2 子宮頸がん等ワクチン接種事業による任意接種実施件数 ①子宮頸がん予防 21,161件 ②ヒブ 26,395件 ③小児用肺炎球菌 31,553件	1 定期接種実施件数 99,730件 2 子宮頸がん等ワクチン接種事業による任意接種実施件数 ①子宮頸がん予防 7,789件 ②ヒブ 24,184件 ③小児用肺炎球菌 24,431件	1 旧定期接種実施件数 75,463件 2 子宮頸がん等ワクチン接種実施件数 ①子宮頸がん予防 2,338件 ②ヒブ 24,866件 ③小児用肺炎球菌 23,227件	1 旧定期接種実施件数 73,800件 2 子宮頸がん等ワクチン接種実施件数 ①子宮頸がん予防 1,500件 ②ヒブ 23,947件 ③小児用肺炎球菌 23,947件	継続実施	保健予防課 予防接種担当 054-249-3173	市HP(保健予防課) 市広報紙 予防接種のしおり 母子健康手帳 個別通知(出生時ほか)	1,275,027	1,275,027

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
105	継		児童館の運営	各種教室や読み聞かせ、クラブ活動など、児童に健全な遊びを提供することにより、児童の健康を増進して情操を豊かにするとともに、地域における児童健全育成の拠点として運営します。	市内児童館(10館)で各種事業等を実施し、延べ357,172人が来館。	市内児童館(10館)で各種事業等を実施し、延べ338,406人が来館。	市内児童館(11館)で各種事業を実施。 ※平成24年5月13日草薙児童館開館(市直営)	市内児童館(11館)で各種事業等を実施。	市内11館で実施 小型児童館(5館) 児童センター(6館)	市内11館で実施 小型児童館(5館) 児童センター(6館)	子ども未来課 子育て支援担当 054-221-1543	市HP(子ども未来課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」 各児童館HP 子育てハンドブック チラシ	201,810	201,810
106	継	0歳～概ね18歳保護者	児童館の整備	市域全体の均衡や地域性、地域の児童数などを勘案し、現在児童館が配置されていない旧清水市域に整備します。	(仮称)清水区西部地域児童館整備の実施設計	草薙児童館建設 工期: H23.4.1～ H24.3.31 H24.3.12完成	草薙児童館の開設(建設工事は23年度中に完了) ※児童館類似施設として位置づける「子どもクリエイティブタウン」が25年1月に開設。(産業政策課所管)	整備なし	整備の予定なし	1館 ※草薙児童館	子ども未来課 子育て支援担当 054-221-1543	—	0	0
107	継		児童遊び場整備への補助	自治会や町内会が管理運営している児童遊び場の整備や遊具等の新設・修繕などへの補助を行います。	児童遊び場 88か所 遊具修繕 9件	児童遊び場 88か所 遊具修繕 9件	継続実施 児童遊び場 87か所 遊具修繕等 15件	継続実施 児童遊び場 86か所 遊具修繕等 11件	継続実施	継続実施	子ども未来課 子育て支援担当 054-221-1543	—	1,235	1,235
108	継	0歳保護者	産後ケア事業	出産後の母体保護を目的とし、日常生活における保健指導が必要な母子に対し、助産所において産婦の母体管理、生活指導及び沐浴その他の育児指導を行います。	利用者 11組 利用延べ日数 42日	利用者数 11組 利用延べ日数 81日	利用者数 9組 利用延日数 49日	利用者数(見込) 12組 利用延日数(見込) 60日	利用者数(計画) 8組 利用延日数(計画) 10日	継続実施	健康づくり推進課 母子保健担当 054-221-1574	市HP(健康づくり推進課) 市広報紙 チラシ 子育てハンドブック	400	400
109	継	1歳3歳	幼児(1歳6か月児、3歳児)健康診査の実施	幼児(1歳6か月児、3歳児)の健康維持・増進を図るため、各保健福祉センターにおいて身体的発育、精神発達等についての健康診査を実施します。	1歳6か月児健康診査 5,667人 (受診率 95.0%) 3歳児健康診査 5,736人 (受診率 94.2%)	1歳6か月対象者数 5,879人 1歳6か月児健康診査 5,618人 (受診率 95.6%) 3歳児対象者数 5,840人 3歳児健康診査 5,500人 (受診率 94.2%)	○1歳6か月児健診 対象者数 6,028人 受診者数 5,776人 ※受診率 95.8% ○3歳児健診 対象者数 5,953人 受診者数 5,688人 ※受診率 95.5%	1歳6か月児対象者 5,569人 3歳児対象者 5,877人	1歳6か月児対象者 5,511人 3歳児対象者 5,819人	○1歳6か月児受診率 95.0% ○3歳児受診率 95.0%	健康づくり推進課 母子保健担当 054-221-1574 葵健康支援課 054-249-3196 駿河健康支援課 054-285-8377 清水健康支援課 054-348-7981	市HP(健康づくり推進課) 市広報紙 チラシ 子育てハンドブック	44,533	44,533
110	継		2次健診・精密健診の実施	幼児(1歳6か月児、3歳児)の健康診査の結果、身体的・精神的疾病又は異常の疑いがある幼児に対し、医療機関への受診の勧奨や保健福祉センターでの2次健診を実施します。	心理相談、聴力2次検診、乳幼児発達健診、総合発達相談 延 376回 延 783人	心理相談、聴力2次検診、乳幼児発達健診、総合発達相談 延 314回 延 672人 1歳半精密 31件 3歳児精密 39件	心理相談、聴覚2次検診、乳幼児発達健診、総合発達相談 延 313回 延 710人 1歳半精密 56件 3歳児精密 138件	心理相談、聴覚2次検診、乳幼児発達健診、総合発達相談 延313回(見込) 延710人(見込)	心理相談、聴覚2次検診、乳幼児発達健診、総合発達相談 延313回(見込) 延710人(見込)	継続実施	健康づくり推進課 母子保健担当 054-221-1574 葵健康支援課 054-249-3196 駿河健康支援課 054-285-8377 清水健康支援課	案内チラシ(対象者)	No.109 に含む	No.109 に含む

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
111	継	就学前	歯科保健指導	保育園や幼稚園に出向き、歯みがき教室を実施したり、各保健福祉センターや児童館等にて歯科保健指導を実施します。	山間地歯みがき教室 2回 21人 歯科相談 202回 1,357人	山間地歯みがき教室 2回 15人 歯科相談 164回 1,176人	歯みがき巡回指導 142園 12,158人 (山間地歯みがき教室含む。No.101より歯みがき巡回指導を移動) 歯科相談 63回 309人	歯みがき巡回指導 118園 11,590人 歯科相談 21回 21人	歯みがき巡回指導 140園 11,800人 歯科相談 21回 目標数21人	継続実施	健康づくり推進課 健康政策担当 054-221-1574 葵健康支援課 054-249-3196 駿河健康支援課 054-285-8377 清水健康支援課 054-348-7981	市HP(健康づくり推進課)	7,753	7,753
112	継		Jリーグアカデミーエスパルス巡回スポーツ教室の開催	子どもを地域ぐるみで育て、健全な心身の発育を促すため、清水エスパルスと協働し、市内保育園や幼稚園にサッカーコーチが訪問し、サッカーやボール遊びによる運動教室を実施します。	実施か所 126園	実施か所 126園 参加園児 4,031人	実施か所 133園 参加園児 4,260人	実施か所 約130園 参加園児 約4,000人	実施か所 約130園 参加園児 約4,000人	継続実施	スポーツ振興課 ホームタウン推進担当 054-221-1072	市HP(スポーツ振興課) 清水エスパルスHP	0	0
113	継	就学前小学生	フッ素洗口によるむし歯予防事業	永久歯の萌出時期である幼児・児童を対象に、フッ化物洗口による歯質強化を行います。	公立保育園 48園中47園実施 私立保育園 55園中49園実施 国公立幼稚園 15園中1園実施 私立幼稚園 54園中16園実施 公立小学校 87校中4校実施	公立保育園 47園中46園実施 私立保育園 56園中50園実施 国公立幼稚園 15園中1園実施 私立幼稚園 54園中16園実施 公立小学校 87校中4校実施	公立保育園 47園中46園実施 私立保育園 56園中51園実施 国公立幼稚園 15園中1園実施 私立幼稚園 54園中15園実施 公立小学校 87校中4校実施	公立保育園 47園中46園実施 私立保育園 56園中51園実施 国公立幼稚園 15園中1園実施 私立幼稚園 53園中15園実施 公立小学校 87校中4校実施	公立保育園 47園中46園実施 私立保育園 56園中51園実施 国公立幼稚園 15園中1園実施 私立幼稚園 53園中15園実施 公立小学校 87校中4校実施	実施施設数の拡大	健康づくり推進課 健康政策担当 054-221-1574 葵健康支援課 054-249-3196 駿河健康支援課 054-285-8377 清水健康支援課 054-348-7981	チラシ「フッ素deぶくぶくむし歯予防」	4,355	4,355
114	終	就学前～高校生	こどもクリエイティブタウン整備事業	創造力のある子どもの育成を目的とした仕事体験・ものづくり体験施設を、清水駅西第一地区市街地再開発ビル3・4階に整備します。	整備・運営計画の検討及び策定 実施設計	建築工事 指定管理者の選定 プレオープン事業 キャラクター募集選定	建築工事 開館(平成25年1月)	平成25年1月の開館をもって終了	—	平成25年1月開館	産業政策課 企画担当 054-354-2185	市HP(産業政策課) 市広報紙	—	—
115	拡		こどもクリエイティブタウン運営事業	小学生を中心とした児童(未就学児童から中高年生まで)を対象に、仕事とものづくりの体験の場を提供し、これからの時代に求められるこどもたちの創造力(将来を描く力、社会とかわる力、挑戦する力)を育成する。	—	未実施	開館(平成25年1月)準備委託業務、プレオープン事業	指定管理者による管理 来館者数5万人/年 講座数200回/年 学校利用36校/年	指定管理者による管理 来館者数10万人/年 講座数200回/年 学校利用36校/年	来館者数10万人/年	産業政策課 企画担当 054-354-2185	市HP(産業政策課) 市広報紙	109,581	109,581
116	継	小学生	校庭開放事業運営費の助成	小学校の授業終了後から下校時刻までの間、校長の承認のもとにPTAにより設置された運営委員会が校庭等を利用して、安全な遊び場を提供するための事業や運営費に対して補助金を交付します。	実施校 15校	実施校 15校 延1,440日実施 延109,028人参加	実施校 15校	実施校 15校	実施校 17校	実施校 18校	青少年育成課 育成担当 054-221-1698	—	6,800	6,800

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
117	継	保護者	離乳食の作り方教室の開催	保護者に対して、離乳に対する正しい知識と基礎的な実践力を身につけるため、実際にその時期にあった離乳食の作り方のデモンストレーションや調理実習、試食を行います。	市内全保健福祉センターで実施 開催回数 112回	市内全保健福祉センターで実施 開催回数 121回 参加者 2,036人	市内全保健福祉センターで実施 開催回数 127回 参加者 2,070人	市内全保健福祉センターで実施 開催回数 127回(見込) 参加者 1,972人(見込)	開催予定回数 127回 参加者予定人数 2,000人	継続実施	葵健康支援課 054-249-3196 駿河健康支援課 054-285-8377 清水健康支援課 054-348-7981	市HP(健康づくり推進課) 市広報紙 チラシ 子育てハンドブック	No7に含む	No7に含む
118	継		食育推進事業	市民にわかりやすく、広がりのある活動にしていく為、共通したテーマで取り組み、より積極的に関係機関・団体と連携協働した取り組みを開催します。また、地域や団体の食育活動をサポートする食育応援団を活用し、地域に根ざした食育の推進を行います。	食育月間・食育の日街頭キャンペーン パンフレット(20,000部)及びメニュー集(2,000部)作成・配布 食育イベント、食育トークショー開催 食育応援団創設 しずおか元気応援フェア出展	食育講演会 1回 食育応援団登録及び活用 18団体登録 13回活用 市民アンケート実施 2,500人対象 朝食メニュー集作成、配布 2,200部 食育の日キャンペーン実施 「親子で朝食づくり」講座 1回	第2次食育推進計画策定 食育講演会 1回 食育の日街頭キャンペーン実施 食育応援団登録及び活用 しずおか元気応援フェア出展 19団体登録 29回活用 しずおか元気応援フェア出展 ふじのくに地域食育フェアin中部出展	食育月間普及事業 食育の日普及啓発活動 食育応援団登録及び活用 しずおか元気応援フェア出展 食生活改善普及運動 スーパーと連携した食育イベント開催	食育月間普及事業 食育の日普及啓発活動 食育応援団登録及び活用 しずおか元気応援フェア出展 食生活改善普及運動 企業・団体と連携した食育事業開催	継続実施 静岡市らしい「食育」の推進	健康づくり推進課 健康政策担当 054-221-1571	市HP(たべしずネット) 市広報紙 チラシ	325	325
119	継重	全市民	街区公園等の整備	歩いて行ける身近な場所において、子どもの遊び場や地域住民の健康運動の場となる公園等を計画的に整備します。	新設公園 3箇所 新設緑越 3箇所 実施設計・用地等 3箇所	再整備(プール含む)他4箇所 実施設計・用地 5箇所	新設公園 2箇所 再整備 1箇所 委託 1箇所	仮称丸子新田公園外10公園予定	仮称古庄三丁目公園外14公園予定	22~24 12公園整備 25 7公園整備予定 26 未定	公園整備課 公園建設担当 054-221-1420	—	187,500	21,400
120	継		都市公園バリアフリー化事業	誰もが快適に利用できる公園の形成を図るため、ベビーシート等を設けた車いす対応トイレを設置するとともに、園路等の段差解消を図ります。	北大門公園外7公園整備	新通公園外4公園整備	みずほなかよし公園外4公園整備	西草深公園外9公園整備予定	継続実施予定	今後、年4箇所整備予定	公園整備課 公園建設担当 054-221-1420	—	0	0
合 計													1,938,983	1,769,758

(注1)「平成26年度当初予算額」の「合計」について、欄内にある「No.〇〇に含む」や「〇〇〇の一部」などの表現をしている予算額は、他事業と切り分けができないことや事業対象者に子ども以外を含んでいるなどの理由により、合計額に含めていません。

(注2)「平成25年度実績(見込)」については、平成26年9月頃にあらためて確定値を公表します。

(注3)本一覧表は、平成26年2月24日に取りまとめた状況です。

施策目標3「子どもの心身の健やかな育ちを支える環境づくり」
基本施策2「子どもの健全育成促進と自立への支援」

※「区分」欄の説明

「継」⇒前年度から単に継続する事業、「新」⇒平成26年度からの新規事業、「重」⇒子どもプラン上の重点施策、「ま」⇒まちみがき戦略推進プラン事業、「拡」⇒平成26年度に拡大・拡充する事業、「終」⇒終了した事業

単位：千円

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
121	継	小学生	交通安全リーダーワッペン・手帳の配布	小学6年生への進級時、交通安全リーダーとしての意識啓発を図るとともに、小学6年生一人ひとりの自立を目指し、交通安全リーダーワッペンと手帳を配布します。	市立小学校6年生全員に配付	市立小学校6年生全員に配付	市立小学校6年生全員に配付	市立小学校6年生全員に配付	市内小学校6年生全員に配付	継続実施	市民生活課 防犯・交通安全担当 054-221-1058	リーダーワッペン、手帳	3,637千円の一部	3,637千円の一部
122	継		ホームタウン次世代育成プロジェクト事業	子どもの夢教育や心身の育成強化に重点を置き、ホームタウンを支える青少年の健全育成を図るため、様々なスポーツを通して地域や各種団体が協働し、本市の特性を活かした子どもサポート事業を実施します。	「エスパルスドリーム教室」実施前の試験の実施 実施校：中学校1校	エスパルス教育サポート事業「エスパルスドリーム教室」 実施校：小学校15校、中学校2校 参加者：45クラス 1,108名	エスパルス教育サポート事業「エスパルスドリーム教室」 実施校：小学校16校 参加者：43クラス 1,155名	エスパルス教育サポート事業「エスパルスドリーム教室」 実施校：小学校15校 参加者：41クラス 1,317名	エスパルス教育サポート事業「エスパルスドリーム教室」 実施校：小学校15校程度	継続実施	スポーツ振興課 ホームタウン推進担当 054-221-1072	市HP(スポーツ振興課) 清水エスパルスHP NPO静岡ラーニング グラボHP	60	0
123	継		全国少年少女草サッカー大会の開催	サッカーを通して友情の輪を広げ、技術、体力、精神面での成長の場となるよう、小学生を対象としたサッカー大会を開催します。	開催日 H22.8.12～8.16 参加チーム 男子255チーム 女子31チーム	開催日 H23.8.12～8.16 参加チーム 男子256チーム 女子32チーム	開催日 H24.8.10～8.14 参加チーム 男子256チーム 女子32チーム	開催日 H25.8.10～8.14 参加チーム数 男子256チーム 女子32チーム	開催日 H26.8.15～8.19 参加予定チーム数 男子256チーム 女子32チーム	継続実施	スポーツ振興課 ホームタウン推進担当 054-221-1072	全国少年少女草サッカー大会HP	9,968	9,968
124	継		少年教室の開催への助成、運営支援	自然体験活動、地域体験活動を通して健全な青少年を育成し、また地域のリーダーを養成することを目的とした少年教室や少年いかだまつり事業への支援を行います。	少年教室(15教室)を実施する運営委員会への助成 いかだまつり実行委員会への助成	少年教室(13教室)を実施する運営委員会への助成 いかだまつり実行委員会への助成	少年教室13教室で実施	少年教室15教室で実施	少年教室15教室で実施予定	継続実施	青少年育成課 育成担当 054-221-1698	—	2,447	2,447
125	継	小学生 中学生	清水エスパルスホームゲーム小中学生招待事業	子どもがプロスポーツを身近に体感できる機会を創出し、将来の夢や希望を抱ききっかけとなるよう青少年の健全育成を図るため、市内全小中学生を対象に招待チケットを配布します。	○小学校91校、中学校55校全校生徒へ招待 チケット引換券を配布 ○選手が小学校7校へ訪問し、直接チケットの贈呈を行った。	小学校91校、中学校55校全校生徒へ招待 チケットを配布	小学校91校、中学校55校全校生徒へ招待 チケットを配布	小学校91校、中学校56校全校生徒へ招待 チケットを配布予定	小学校91校、中学校56校全校生徒へ招待 チケットを配布予定	継続実施	スポーツ振興課 ホームタウン推進担当 054-221-1072	市HP(スポーツ振興課) 清水エスパルスHP	0	0
126	継	乳幼児	エスパルスハロープロジェクト事業	清水エスパルスと連携し、夢に向かって生きる子どもたちの成長をサポートし、子育てで繋がる地域のコミュニティの推進を図るために、乳児に対しエスパルスオリジナルベビースタイを配布するとともに、子育て関連事業を実施する。	—	未実施 (平成24年度より実施)	ベビースタイ配布枚数 5,120個	ベビースタイ配布枚数 5,800個 子育て関係講座開催 1回	ベビースタイ配布枚数 5,800個 子育て関係講座開催 1回	継続実施	スポーツ振興課 ホームタウン推進担当 054-221-1072	—	3,000	0

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
127	継	小学生 中学生 高校生 大学生	高等学校等起業家育成事業	・市内の小中学校が職業観、勤労観を育むために行う「キャリア教育」に対して、起業の先輩である個人事業者や中小企業の経営者などを派遣します。 ・22年度より、上記事業に加え、市内の高校・大学を対象に、中小企業診断士等の専門家による「起業・創業の仕方(ビジネスプランの作成方法等)」など、より実践的な支援を実施します。 ・23年度からは、市内の高校、大学及び専門学校の学生を対象に、中小企業診断士等の専門家を活用し、「起業・創業の仕方(ビジネスプランの作成方法等)」など、起業・創業に関する実践的な支援を実施します。	実施校 6校 内訳 小学校1校、中学校2校、高校1校、大学1校 計 490人	実施校 6校 内訳 高校2校、大学3校、専門学校1校 計 212人	実施校 6校 (高校2校、専門学校1校、大学3校)	市内の高校、大学及び専門学校 6校実施	市内の高校、大学及び専門学校 7校実施予定	実施校 30校 参加者数 2,500名 ※平成22～27年度	産業政策課 新産業担当 054-354-2313	市産学交流センターHP	指定管理料90,572千円の一部	68,742 (指定管理料のうち一般財源)
128	継	小学生 中学生 高校生～ 概ね18歳	青少年国際親善交流事業	国際社会に通用する青少年を育成するため、歴史や文化等に関する知識を深めるとともに、コミュニケーション能力を高める体験・学習の機会を提供します。	【海外派遣】 H22.8.15～8.24 青少年15名 米国オマハ市へ派遣 日本文化発表、青少年交流、学校体験入学等 【プラットフォーム事業】 座禅体験・闘茶体験・昔の遊び・餅つきを実施し、青少年延べ54人と留学生延べ70人が参加した。	【プラットフォーム事業】 ・全7回中5回実施。 田植え、かかし作り(雨天中止)、稲刈り(雨天中止)、餅つき、地引網体験、座禅体験 ・青少年延べ104人、留学生延べ87人が参加した。	【異文化交流キャンプ】 中学生が外国人と生活を共にしながら英語で交流する。 H24.8.22～8.24実施 和田島少年自然の家 参加者 中学生30人 外国人15人 【プラットフォーム事業】 ・全5回実施。 地引網、座禅、昔の遊び、闘茶、餅つき ・青少年登録者60名	【留学生とチャレンジ体験事業】 ・全4回実施予定 ・事業名称を変更 青少年登録者61名 全4回中3回終了 昔の遊び、座禅、闘茶 2月2日に餅つきを実施予定	【留学生とチャレンジ体験事業】 ・全3回実施予定 【静岡市・伊豆市青少年交流事業代替事業】 (名称未定) ・市内中高生及びALTが自然体験等を通じて交流する。 平成25年度市民評価会議を受け、隔年実施の異文化交流キャンプと統合。	多様なプログラムを毎年度継続実施。	青少年育成課 育成担当 054-221-1698	市HP(青少年育成課) 周知用チラシ(小・中・高・大学へ配布)	830	624
129	継	中学生	学校出前講座「豊かなセクシュアリティ」(中学生対象)	中学生を対象に、男女がお互いの「性と生」を尊重し合い、豊かな人間関係を築くことを目的とした学校出前講座を実施します。	10校で実施	9校で実施	12校で実施	9校で実施	10校で実施	継続実施	男女参画・市民協働推進課 担当 054-221-1349	市HP 中学校へ配付している企画書、申込書	220	220
130	継	中学生	職場(消防署)体験学習の実施	消防業務の役割や使命等について理解を深め、思春期を迎えた中学生に対し働くことの大切さや将来の自分を考えるため、中学生を対象とした職場(消防署)体験学習を実施します。	開催日数 56日 参加者 214人	開催日数 58日 参加者 191人	開催日数 58日 参加者 152人	開催日数 46日 参加者 184人	継続実施(原則として管内の中学校からの申し込みに応じ実施)	体験学習の希望を100%受け入れる。 (消防署の災害出動及び訓練等業務上支障の無い範囲)	各消防署	—	0	0

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
131	継	高校生	ジュニアインターンシップ推進事業	高校生が希望する職業(職種)に関連した事業所等で就業体験を行い、働くことの意味や実態を把握することで、より高い職業意識や職業観を身につけるインターンシップ事業を推進し、進路選択や就職活動等の円滑化を図ります。	平成21年度に引き続き、更なる受け入れ協力事業所を開拓した。また、高校側にインターンシップに関する調査を行ない、実施を希望する高校と受入事業所のコーディネートを実施した。	平成22年度に引き続き、更なる受け入れ協力事業所を開拓した。また、高校側にインターンシップに関する調査を行ない、実施を希望する高校と受入事業所のコーディネートを実施した。	平成23年度に引き続き、更なる受け入れ協力事業所を開拓した。また、高校側にインターンシップに関する調査を行ない、実施を希望する高校と受入事業所のコーディネートを実施した。 ・コーディネート人数86人 ・受入企業51社	平成24年度に引き続き、更なる受け入れ協力事業所を開拓した。また、高校側にインターンシップに関する調査を行ない、実施を希望する高校と受入事業所のコーディネートを実施した。	継続実施 受入事業所開拓20社 実施校 5校 実施人数 50名	継続実施	商業労政課 雇用労働政策担当 054-354-2430	市HP(商業労政課)	1,023	1,023
132	継	高校生	高校生事業所見学会の開催	就職を希望する生徒を対象に、市内主要企業、地場産業又は工業団地等の事業所見学会を開催し、職場の実情、職業の内容、職業生活に対する心構え等を学びます。	高校生、担当教諭等を2事業所ずつ4コースに分け、合計8事業所を見学した。 H22.8.4実施 参加者176人 (内訳)高校生155人、担当教諭等21人	高校生、担当教諭等を2事業所ずつ4コースに分け、合計8事業所を見学した。 H23.8.4実施 参加者101人 (内訳)高校生93人、担当教諭8人	開催回数1回 参加人数184人	「事業所見学会」の代わりに、「高校生企業ガイダンス」を実施した。 H25.7.11実施 参加者 527人(高校生) 企業数 40社	「高校生企業ガイダンス」の実施 多業種の市内企業が高校生に業務内容等を説明することで、高校生の就業意識の醸成を図る。	継続実施	商業労政課 雇用労働政策担当 054-354-2430	チラシ(高校配布)	74	74
133	継	高校生 大学生	若者を対象としたDV防止対策の実施	市女性会館等において、女性に対する暴力防止に関する講座を開催し、10代の若者を対象としたDV防止の啓発を進めます。	市内大学2校で実施	市内大学等3ヶ所で実施	市内大学等3ヶ所で実施	市内大学等1ヶ所で実施	市内高校等1ヶ所で実施	女性会館事業(指定管理事業)において毎年度継続実施。	男女参画・市民協働推進課 男女共同参画担当 054-221-1349	市HP(女性会館) チラシ 市広報紙	指定管理料に含む	指定管理料に含む
134	継	保護者(母親)	母親クラブの育成	児童の健全育成を図る母親など地域住民の積極的参加による地域組織活動の促進を図るため、各母親クラブに対して運営費の一部を助成します。	11クラブ	11クラブ	11クラブ (参考) 24年度は東海・北陸・近畿ブロックの母親クラブ指導者研修会を開催市として運営。	11クラブ	11クラブの活動の充実を図る。	11クラブ	子ども未来課 子育て支援担当 054-221-1543	チラシ	1,872	1,872
135	継		学校出前講座「思春期における心と体の発達」(保護者対象)	思春期特有の心と体の発達について学び、お互いを思いやる気持ち、よい人間関係を築ききっかけづくりを目的とし、小中学生の保護者を対象に出前講座を実施します。	実施なし(申込みがなかったため、No.129事業に振替)	1校で実施	1校で実施	1校で実施	3校で実施	継続実施	男女参画・市民協働推進課 男女共同参画担当 054-221-1349	市HP 小中学校へ配付している企画書、申込書	30	30

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
136	継	保護者	女性会館事業「子育て関連講座」の実施	市女性会館において、子育て支援に関する様々な講座を実施します。	5講座開催	4講座開催	5講座開催	6講座開催	1講座開催	女性会館事業(指定管理事業)において毎年度継続実施。	男女参画・市民協働推進課 男女共同参画担当 054-221-1349	市HP(女性会館) 市広報紙 チラシ	指定管理料に含む	指定管理料に含む
137	継		家庭教育学級の実施	人間性豊かな子どもをはぐむため、親自身が自ら学び、よりよい家庭づくり・地域づくりに役立てるよう、児童生徒の保護者を対象にした家庭教育学級を実施します。	家庭教育学級24学級実施	家庭教育学級26学級実施	家庭教育学級34学級実施	家庭教育学級を33学級実施(上半期)	事業継続	幼児、小中学生の保護者を対象とした家庭教育学級を25学級実施。	生涯学習推進課 事業担当 054-221-1207	小中学校長及びPTA会長あてに説明会案内送付 生涯学習交流館報に事業内容及び募集記事掲載	指定管理料等 (19,350千円)の一部	指定管理料等 (19,350千円)の一部
合 計													19,524	16,258

(注1)「平成26年度当初予算額」の「合計」について、欄内にある「No.〇〇に含む」や「〇〇〇の一部」などの表現をしている予算額は、他事業と切り分けができないことや事業対象者に子ども以外を含んでいるなどの理由により、合計額に含めていません。

(注2)「平成25年度実績(見込)」については、平成26年9月頃にあらためて確定値を公表します。

(注3)本一覧表は、平成26年2月24日に取りまとめた状況です。

施策目標3「子どもの心身の健やかな育ちを支える環境づくり」
基本施策3「子どもの安全・安心を確保する活動の推進」

※「区分」欄の説明

「継」⇒前年度から単に継続する事業、「新」⇒平成26年度からの新規事業、「重」⇒子どもプラン上の重点施策、「ま」⇒まちみがき戦略推進プラン事業、「拡」⇒平成26年度に拡大・拡充する事業、「終」⇒終了した事業

単位：千円

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
138	継	0歳～概ね18歳	通学路の整備又は通学路安全対策事業	市内通学路において、歩道がないなど危険箇所の調査・点検を実施した上で、歩行空間を確保することにより事故防止対策に努めます。	通学路や児童生徒等の利用が多い車道路路肩部におけるグリーンベルト舗装を実施。興津浦安橋通り1号線L=0.6km、桜ヶ丘町西高町1号線L=0.2km、下川原中央線L=1.3km、中田有東3号線L=0.4km 外	通学路や児童生徒等の利用が多い車道路路肩部におけるグリーンベルト舗装を実施	通学路や児童生徒等の利用が多い道路の路側帯にグリーンベルト舗装を実施。平成24年度実施箇所数—18箇所	平成24年度に実施した通学路合同点検結果をもとに、グリーンベルト舗装が事故防止対策として有効な箇所について、グリーンベルト舗装を実施。平成25年度実施箇所数—9箇所	通学路点検結果をもとに、グリーンベルト舗装が事故防止対策として有効な箇所について、グリーンベルト舗装を実施する。	グリーンベルト未対策箇所34箇所の対策完了。	道路保全課交通安全施設担当 054-221-1284	市広報紙	57,000千円の一部	0
139	継	就学前小学生	花火教室の開催	消防隊が市内保育園・幼稚園等を訪問し、花火の遊び方をはじめとする火災予防教育を実施します。	参加団体97団体 参加者数9,049人	参加団体106団体 参加者数8,972人	参加団体99団体 参加者数7,975人	参加団体107団体 参加者数8,834人	市内幼稚園・保育園・小学校を対象に申し込みのあった園等に対して実施予定。	○参加団体110団体 ○参加者数10,000人	予防課予防担当 054-255-9701	市HP(予防課)	5	5
140	継	小学生 中学生 高校生	静岡市交通指導員会登校時の立哨指導	児童生徒を交通事故から守るため、また、子どもたちの健やかな育成を目的に、登校時、交差点等で交通指導員が立哨指導を実施します。	交通指導員による登校時の立哨指導	交通指導員による登校時の立哨指導	交通指導員による登校時の立哨指導	交通指導員による登校時の立哨指導	交通指導員による登校時の立哨指導	市内全学区・地区への交通指導員配置による立哨指導。	市民生活課防犯・交通安全担当 054-221-1058	市交通指導員会会報誌	2,590千円の一部	2,590千円の一部
141	継	小学生 中学生 高校生 ～概ね18歳	青少年育成センターの運営	関係機関・団体から推薦された補導委員・青少年補導員による補導活動や書店・カラオケ店等の実態調査活動を実施します。	補導委員378人、青少年補導員589人による補導活動、社会環境実態調査を実施	補導委員377人、青少年補導員594人による補導活動、社会環境実態調査を実施	補導委員377人、青少年補導員600人による補導活動、社会環境実態調査を実施	補導委員370人、青少年補導員591人による補導活動、社会環境実態調査を実施	補導委員372人、青少年補導員600人による補導活動、社会環境実態調査を実施	継続実施	青少年育成課指導担当 054-221-1474	冊子「センター静岡」を作成し、関係機関・団体へ配布市HP(青少年育成課)	9,872	9,807
142	継	小学生 中学生 保護者	インターネット等安全・安心利用研修事業	インターネットや携帯電話の急速な普及により、青少年が事件やトラブルに巻き込まれることを予防するため、青少年健全育成会等が実施する安全利用に関する研修に対する支援(講師紹介、講師謝金助成)を行います。	市内4団体で実施	市内6団体で実施	市内5団体で実施	市内13団体で実施	市内10団体で実施	継続実施	青少年育成課指導担当 054-221-1474	—	0	0
143	継	高校生	自転車マナー向上に向けての指導・啓発	自転車に関する交通事故を防止するため、警察等と連携し、自転車マナー向上キャンペーンや交通安全指導員による自転車交通安全教室等を実施します。	自転車マナー向上「指導強化の日」に合わせた街頭指導・広報活動を各区において年2回実施	自転車マナー向上「指導強化の日」に合わせた街頭指導・広報活動を各区において年2回実施	自転車マナー向上キャンペーン「指導強化の日」に合わせた街頭指導・広報活動を各区において年2回実施。自転車交通安全教室を実施。	自転車マナー向上「指導強化の日」に合わせた街頭指導・広報活動を各区において年2回実施	自転車マナー向上「指導強化の日」に合わせた街頭指導・広報活動を各区において年2回実施	継続実施	市民生活課防犯・交通安全担当 054-221-1058	—	3,637千円の一部	3,637千円の一部

掲載 No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 実績(見込)	平成26年度 取組内容(計画)	平成26年度末 目標値	担当課・連絡先	事業の詳細 が分かる媒体等	平成26年度 当初予算額	
													予算額	うち一財
144	拡	全市民	地域防犯活動事業	地域ぐるみの自主的防犯活動を促進するため、地域の複数の自治会・町内会組織を中心に結成された地区安全会議が、防犯パトロール、防犯教室、講演会等の地域防犯活動を実施するための立ち上げ費用及び活動費用の一部を助成します。	補助団体数30団体 4団体新規で立ち上げ実施	新規立ち上げ4団体へ補助 (市内34団体設置)	2団体新規で立ち上げ実施 (市内36団体設置)	3団体新規で立ち上げ実施 (市内39団体設置)	4団体新規で立ち上げ実施 (市内43団体設置) 団体の活動支援	市内43中学校区に 43団体	市民生活課 防犯・交通安全担当 054-221-1058	静岡市地域防犯活動事業費補助金交付要綱	2,700	2,700
145	継		非行防止等啓発事業	青少年の非行防止、健全育成に関する市民意識の高揚を図るため、街頭キャンペーン、啓発用チラシの作成などを実施します。	街頭キャンペーン(年2回) 啓発用チラシ作成・配布(年2回) 中学校新入生保護者説明会での広報(年1回)	街頭キャンペーン(年2回) 啓発用チラシ作成・配布(年2回) 中学校新入生保護者説明会での広報(年1回)	街頭キャンペーン(年2回) 啓発用チラシ作成・配布(年2回) 中学校新入生保護者説明会での広報(年1回)	街頭キャンペーン(年2回) 啓発用チラシ作成・配布(年2回) 中学校新入生保護者説明会での広報(年1回)	街頭キャンペーン(年2回) 啓発用チラシ作成・配布(年2回) 中学校新入生保護者説明会での広報(年1回)	街頭キャンペーン(年2回) 啓発用チラシ作成・配布(年2回) 中学校新入生保護者説明会での広報(年1回)	青少年育成課 指導担当 054-221-1474	周知用チラシ(JR静岡駅・清水駅、小・中学校へ配布)	924	924
合 計													13,501	13,436

(注1)「平成26年度当初予算額」の「合計」について、欄内にある「No.〇〇に含む」や「〇〇〇の一部」などの表現をしている予算額は、他事業と切り分けができないことや事業対象者に子ども以外を含んでいるなどの理由により、合計額に含めていません。

(注2)「平成25年度実績(見込)」については、平成26年9月頃にあらためて確定値を公表します。

(注3)本一覧表は、平成26年2月24日に取りまとめた状況です。

施策目標3「子どもの心身の健やかな育ちを支える環境づくり」
基本施策4「虐待を受けている児童など配慮を必要とする子どもとその家庭への支援」

※「区分」欄の説明

「継」⇒前年度から単に継続する事業、「新」⇒平成26年度からの新規事業、「重」⇒子どもプラン上の重点施策、「ま」⇒まちみがき戦略推進プラン事業、「拡」⇒平成26年度に拡大・拡充する事業、「終」⇒終了した事業

単位：千円

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
146	継	0歳～18歳未満保護者	要保護児童・家庭への支援	虐待等を理由に子どもを家庭から離して一時保護し、緊急保護や行動観察、短期入所指導を実施します。また、子ども又はその保護者を児童福祉司等に指導させ、又は子どもを児童福祉施設等に入所させたり、里親に委託します。	○施設入所等の児童数 204人 ○里親委託率 24.4% ○里親登録者 70世帯	○施設入所等の児童数 197人 ○里親委託率 27.5% ○里親登録者 76世帯	○施設入所等の児童数 195人 ○里親委託率 38.7% ○里親登録者 78世帯	○施設入所等の児童数 215人 ○里親委託率 39.2% ○里親登録者 82世帯	継続実施	○施設入所等の児童数 190人 ○里親委託率 30% ○里親登録者 86人	児童相談所 支援担当 054-275-2873	年度版「事業のあゆみ」	1,045,030	585,134
147	継	0歳～概ね18歳	要保護児童対策地域協議会の運営	要保護児童の早期発見や適切な保護を図るため、関係機関が児童やその保護者に関する情報交換や考え方を共有するとともに、関係機関の支援内容や役割分担などの協議を行います。	代表者会議 1回 実務者会議 48回 個別ケース検討会議 43回 研修会 2回	代表者会議 1回 実務者会議 48回 個別ケース検討会議 42回 研修会 2回	代表者会議 1回 実務者会議 48回 個別ケース検討会議 随時開催(H24.41回開催) 研修会 2回	代表者会議 1回 実務者会議 48回 個別ケース検討会議 (随時) 研修会 2回	代表者会議 1回 実務者会議 45回 個別ケース検討会議 (随時) 研修会 2回	代表者会議 1回 実務者会議 48回 個別ケース検討会議 (随時)	子ども家庭課 総務担当 054-221-1161	市HP(子ども家庭課)	700	599
148	終	就学前～高校生	中山間地域里親拡充事業	社会的養護を必要とする児童の中でも、特に家庭での親密な援助を必要とする子どもに対し、家庭的養護を提供する里親制度を広く普及させるため啓発活動を実施します。	民生委員・児童委員協議会や市政ふれあい講座にて制度の説明等、啓発活動を実施。(計6回)	民生委員・児童委員協議会や市政ふれあい講座にて制度の説明等、啓発活動を実施。(計5回)	平成23年度で当該事業を廃止し、市内全域を対象に啓発活動を実施している。	平成23年度をもって事業終了	平成23年度をもって事業終了	市内の中山間地全域での啓発活動を実施。	児童相談所 相談・判定担当 054-275-2873	年度版「事業のあゆみ」	—	—
149	継	15歳～概ね35歳未満	ニート対策事業	就労に悩みを持つ本人(ニート)、保護者等を対象にセミナーを開催し、相談コーナーも設置し、ニート状態の脱出に向けた支援を行います。また、上記のような悩みを持つ相談者に対して、葵区・駿河区で出張相談、清水テルサにおいて、臨床心理士等による心理カウンセリングを平成25年度から実施しています。	ニート脱出セミナーの開催 個別相談の実施	ニート脱出セミナーの開催 個別相談の実施	・セミナー2回実施 7/14参加者27名 2/2参加者43名 ・個別相談会実施	・セミナー2回実施 7/20参加者58名 1/25参加者32名 ・臨床心理士等による心理カウンセリング12回121件 ・出張相談会6回相談者15名	・セミナー2回実施 ・出張相談会年6回 ・臨床心理士等による心理カウンセリング年12回	継続実施	商業労政課 雇用労働政策担当 054-354-2430	市HP(商業労政課) 市広報紙 チラシ	978	978
150	継	母子家庭	母子生活支援施設措置事業	保護を必要とする配偶者のない女子等やその児童を母子生活支援施設に入所させ、自立の促進のためにその生活を支援します。	利用施設数 3施設 利用世帯数 延べ139世帯/年間	利用施設数 5施設 利用世帯数 延べ199世帯/年間	利用施設数 5施設 利用世帯数 延べ178世帯/年間	利用施設数7施設 利用世帯(見込) 延べ184世帯/年間	利用施設数7施設 利用世帯(見込) 延べ200世帯/年間	市内外の施設で実施	子ども家庭課 総務担当 054-221-1161	—	42,000	20,981
151	継		婦人相談員の配置	DVに関する相談・指導を実施し、DV被害者の支援を行います。	各福祉事務所に1人配置 婦人相談員による女性相談 493件	各福祉事務所に1人配置 婦人相談員による女性相談 642件	各福祉事務所に1人配置 婦人相談員による女性相談 597件	各福祉事務所に1人配置 婦人相談員による女性相談600件	各福祉事務所に1人配置 DV被害者の保護及び自立への支援を適切に実施	継続実施	福祉総務課 生活支援・自立推進担当 054-221-1370	—	405	332

掲載 No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 実績(見込)	平成26年度 取組内容(計画)	平成26年度末 目標値	担当課・連絡先	事業の詳細 が分かる媒体等	平成26年度 当初予算額	
													予算額	うち一財
152	継	全市民	児童虐待防止「オレンジリボンキャンペーン」の実施	Jリーグ清水エスパルスとの連携により、啓発品の配布、選手のオレンジリボン装着など児童虐待防止啓発活動を実施し、児童虐待防止・早期発見への機運を高めます。	○子ども虐待防止キャンペーンによる啓発 ○球団マスコットによる啓発 ○啓発品の配布(ホームゲーム約16,500人、ホビーフェア会場約1,000人) ○ハンドブック約18,000冊配布(市内事業所、町内会他) ○ホームゲーム特設ブースの設置 ○清水エスパルス選手のオレンジリボン装着 ○講演会の実施 ○啓発ビデオ放映	○子ども虐待防止キャンペーンによる啓発 ○球団マスコットによる啓発 ○啓発品の配布(ホームゲーム約16,000人、講演会、研修会等約4,000人) ○ハンドブック約10,000冊配布(一般市民他) ○ホームゲーム特設ブースの設置 ○清水エスパルス選手のオレンジリボン装着 ○講演会の実施 ○啓発ビデオ放映 ○オレンジリボンブース開設(各区役所フロアスペース)	○子ども虐待防止キャンペーンによる啓発 ○球団マスコットによる啓発 ○啓発品の配布(ホームゲーム約12,000人、研修会、会議等約8,000人) ○ハンドブック約8,000冊配布(一般市民他) ○啓発ビデオ放映 ○オレンジリボンブース開設(各区役所フロアスペース) ○子育て支援団体への啓発と協力体制の構築 ○エスパルスサポーターへの啓発と協力体制の構築 ○ラジオ、情報紙を利用した啓発	○エスパルスとの協働による児童虐待防止啓発ポスター作製及び選手と活用した啓発動画作成 ①ポスター作製500部 保育園・幼稚園、小学校、中学校、生涯学習交流館等関係機関への配付 ②動画放映 JR静岡駅北口イベント広場マルチビジョン(10/26~11/29) 各区1階モニター(11/1~12/27)	○エスパルスとの協働による児童虐待防止啓発事業の実施 ポスター、動画作成提示等 ○ラジオ番組を活用した啓発 ○啓発品の配布等	継続実施	子ども家庭課 総務担当 054-221-1161	市広報紙 市HP(子ども家庭課)	1,800	900
合 計												1,090,913	608,924	

(注1)「平成26年度当初予算額」の「合計」について、欄内にある「No.〇〇に含む」や「〇〇〇の一部」などの表現をしている予算額は、他事業と切り分けができないことや事業対象者に子ども以外を含んでいるなどの理由により、合計額に含めていません。

(注2)「平成25年度実績(見込)」については、平成26年9月頃にあらためて確定値を公表します。

(注3)本一覧表は、平成26年2月24日に取りまとめた状況です。

施策目標3「子どもの心身の健やかな育ちを支える環境づくり」
基本施策5「障害のある子どもとその家庭への支援」

※「区分」欄の説明

「継」⇒前年度から単に継続する事業、「新」⇒平成26年度からの新規事業、「重」⇒子どもプラン上の重点施策、「ま」⇒まちみがき戦略推進プラン事業、「拡」⇒平成26年度に拡大・拡充する事業、「終」⇒終了した事業

単位：千円

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
153	継	0歳～18歳未満の障害のある人	療育手帳の判定・交付決定	知的障害のある人に対して一貫した指導・援助を行うとともに、各種支援を受けやすくすることにより、知的障害のある人の福祉の増進を図ることを目的として交付します。	新規 191件 再判定 375件 再交付 113件	新規 200件 再判定 397件 再交付 140件	新規 215件 再判定 360件 再交付 149件	継続実施 新規交付 190件 再判定 410件 再交付 160件	継続実施 新規交付 200件 再判定 420件 再交付 160件	継続実施 新規交付、再判定、再交付	児童相談所 相談・判定担当 054-275-2872	年度版「事業のあゆみ」	500	500
154	継	0歳～18歳未満の障害のある人	軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業	身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度難聴児に対し、補聴器の購入費用の一部を助成します。	—	—	未実施 (平成25年度より実施)	申請見込者数 18人	申請見込者数 18人	継続実施	障害者福祉課 自立支援担当 054-221-1098	市HP(障害者福祉課) パンフレット	1,587	1,587
155	継	0歳～20歳未満の障害のある人の保護者	重度心身障害児扶養手当及び特別児童扶養手当の支給	20歳未満の重度の障害のある人の保護者に対し、子どもが障害を有することにより発生する経済的負担の軽減を図るため、手当を支給します。	(特別児童扶養手当) — (重度心身障害児扶養手当) 752人	(特別児童扶養手当) — (重度心身障害児扶養手当) 745人	(特別児童扶養手当) 1,219人 (重度心身障害児扶養手当) 757人	(特別児童扶養手当) — (重度心身障害児扶養手当) 765人(見込)	(特別児童扶養手当) — (重度心身障害児扶養手当) 806人(児童数見込)	継続実施	障害者福祉課 地域生活支援担当 054-221-1198	市HP(障害者福祉課) 「福祉のしおり」	31,356	31,356
156	継	小学校～概ね18歳の障害のある人保護者	障害児放課後対策レスパイト事業	障害のある人の地域生活を支え、健全な育成を図ることを目的に、子どもやその家族の必要に応じて放課後対策レスパイト事業を実施する団体に対し、補助金を交付します。	3団体	1団体	1団体	1団体	1団体	1団体	障害者福祉課 地域生活支援担当 054-221-1198	静岡市障害者福祉計画	6,419	6,419
157	継		障害児福祉手当の支給	20歳未満の重度の障害のある人に対し、障害を有することにより発生する経済的負担の軽減を図るため、支給します。	受給者数 432人	受給者数 429人	受給者数 427人	受給者数(見込) 438人	受給者数(見込) 451人	継続実施	障害者福祉課 地域生活支援担当 054-221-1198	市HP(障害者福祉課) 「福祉のしおり」	76,742	19,185
158	継		心身障害者扶養共済制度事務	障害のある人を扶養している保護者が、自らの生存中に毎月一定の掛金を納め、保護者に万が一のことがあった場合、障害のある人に終身一定額の年金を支給する制度を運営します。	掛金納付者数 86人 年金交付者数 49人 (注)障害者と障害児を合わせた数	加入者数 279人 年金受給者数 64人 (注)障害者と障害児を合わせた数	加入者数 263人 年金受給者数 73人 (注)障害者と障害児を合わせた数	加入者数 256人 年金受給者数 84人 (注)障害者と障害児を合わせた数	加入者数 245人 年金受給者数 95人 (注)障害者と障害児を合わせた数	継続実施	障害者福祉課 自立支援担当 054-221-1098	市HP(障害者福祉課) 「福祉のしおり」 扶養共済パンフレット	110,674 の一部	10,837 の一部

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
159	終		重症心身障害児(者)通園事業	在宅の重症心身障害児(者)に、健康の維持、発達指導、日常生活指導又は機能訓練を行うとともに、介護者に必要な助言・指導を行います。	A型通園事業 172人 B型通園事業 55人 (注)障害者と障害児を合わせた数	A型通園事業 201人 B型通園事業 40人 (注)障害者と障害児を合わせた数(各月の初日利用者の合計人数)	平成23年度をもって事業終了 ※平成24年4月から法定化され、No.160児童発達支援に含まれた。	—	—	平成23年度をもって事業終了 ※平成24年4月から法定化され、No.160児童発達支援に含まれた。	障害者福祉課 自立支援担当 054-221-1098	静岡市障害者福祉計画	—	—
160	継		児童発達支援事業	障害児に対し、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの療育を行うとともに、障害児の家族に対して支援を行います。	—	未実施 (平成24年度より実施)	1,115人日/月 ※実人数88人/月	1,170人日/月 ※実人数98人/月 (利用見込)	1,380人日/月 ※実人数115人/月 (利用見込)	継続実施	障害者福祉課 自立支援担当 054-221-1098	静岡市障がい福祉計画 「福祉のしおり」	165,669	41,417
161	継		放課後等デイサービス	学校通学中の障害児に対して、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより、障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所を提供します。	—	未実施 (平成24年度より実施)	3,021人日/月 ※実人数365人/月	4,727人日/月 ※実人数506人/月 (利用見込)	5,644人日/月 ※実人数604人/月 (利用見込)	継続実施	障害者福祉課 自立支援担当 054-221-1098	静岡市障がい福祉計画 「福祉のしおり」	593,268	148,317
162	継		保育所等訪問支援	障がい児施設で指導経験のある児童指導員や保育士が、保育所などを2週間に1回程度訪問し、障がい児や保育所などのスタッフに対し、障がい児が集団生活に適応するための専門的な支援を行います。	—	—	未実施 (平成25年度より実施)	0人日/月	22人日/月	継続実施	障害者福祉課 自立支援担当 054-221-1098	静岡市障がい福祉計画 「福祉のしおり」	5,328	1,332
163	継		自立支援給付事業	障害者自立支援法に基づき、障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができることを目的に、障害福祉サービスの利用に係る給付費を支給します。	居宅介護 延べ5,593人 行動援護 延べ236人 児童デイサービス 延べ1,630人 短期入所 延べ1,923人 (注)障害者と障害児を合わせた数	居宅介護 延べ6,500人 行動援護 延べ264人 児童デイサービス 延べ2,908人 短期入所 延べ2,058人 (注)障害者と障害児を合わせた数	居宅介護 延べ7,460人 同行援護 延べ1,486人 行動援護 延べ255人 短期入所 延べ2,205人 (注)障害者と障害児を合わせた数 児童デイサービスについては平成24年度以降、No.160児童発達支援、No.161放課後等デイサービスに移行。	居宅介護 延べ8,332人 同行援護 延べ1,570人 行動援護 延べ219人 短期入所 延べ2,740人 (注)障害者と障害児を合わせた数	居宅介護 延べ9,234人 同行援護 延べ1,711人 行動援護 延べ215人 短期入所 延べ2,832人 (注)障害者と障害児を合わせた数	継続実施	障害者福祉課 自立支援担当 054-221-1098 精神保健福祉課 企画担当 054-249-3179	市HP(障害者福祉課) パンフレット「みんなの障害福祉サービス」 精神保健福祉のしおり	8,383,468 の一部	2,065,867 の一部
164	継		重度心身障害者医療費の助成	重度心身障害者の保険診療に係る自己負担分を助成します。	受給者数 14,921人 (障害者と障害児を合わせた数)	受給者数 15,074人 (注)障害者と障害児を合わせた数	受給者数 障害者15,313人 精神150人 (注)障害者と障害児を合わせた数	受給見込者数(障害+精神) 15,662人 (注)障害者と障害児を合わせた数	受給見込者数(障害+精神) 15,862人 (注)障害者と障害児を合わせた数	継続実施	障害者福祉課 地域生活支援担当 054-221-1198 精神保健福祉課 企画担当 054-249-3179	市HP(障害者福祉課) 「福祉のしおり」	(障害) 1,249,871 の一部 (精神) 33,350 の一部	(障害) 1,249,871 の一部 (精神) 33,350 の一部

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
165	継	障害のある人	補装具支給事業	障害のある人の失われた機能を補い、日常生活を円滑に過ごすために適した用具の購入又は修理の費用を助成します。	助成件数 942件 (注)障害者と障害児を合わせた数	助成件数 971件 (注)障害者と障害児を合わせた数	助成件数 982件 (注)障害者と障害児を合わせた数	助成件数(見込) 824件 (注)障害者と障害児を合わせた数	助成件数(見込) 843件 (注)障害者と障害児を合わせた数	継続実施	障害者福祉課 自立支援担当 054-221-1098	市HP(障害者福祉課) 障害者福祉のしおり	92,283	22,741
166	継		日常生活用具支給事業	重度身体障害者の日常生活の便宜を図るため、障害の種類と程度に応じて介護・訓練支援用具、自立生活支援用具等の費用を助成します。	助成件数 5,966件 (注)障害者と障害児を合わせた数	助成件数 6,691件 (注)障害者と障害児を合わせた数	助成件数 7,498件 (注)障害者と障害児を合わせた数	助成件数(見込) 8,011件 (注)障害者と障害児を合わせた数	助成件数(見込) 9,081件 (注)障害者と障害児を合わせた数	継続実施	障害者福祉課 地域生活支援担当 054-221-1198	市HP(障害者福祉課) 障害者福祉のしおり	189,489	47,373
167	継		重度心身障害者住宅改造費補助金	障害のある人が住み慣れた住宅で安心して健康的な生活ができるよう住宅を改造する場合、補助金を交付します。	3件 (注)障害者と障害児を合わせた数	3件 (注)障害者と障害児を合わせた数	助成件数 5件 (注)障害者と障害児を合わせた数	助成件数(見込) 6件 (注)障害者と障害児を合わせた数	助成件数(見込) 5件 (注)障害者と障害児を合わせた数	継続実施	障害者福祉課 地域生活支援担当 054-221-1198	市HP(障害者福祉課) 障害者福祉のしおり	2,685	2,685
168	拡		移動支援事業	屋外での移動が困難な障害のある人に対し、個々の利用に合った計画のもと、移動支援事業従事者の資格を持つガイドヘルパーが外出のための支援を行い、利用に対する費用の一部を助成します。	(障害者福祉課分) 事業所数 46か所 利用者数 延べ6,957人 (精神保健福祉課分) 事業所数 9か所 利用者数 延べ142人 (注)障害者と障害児を合わせた数	(障害者福祉課分) 事業所数 51か所 利用者 延べ 6,957人 (精神保健福祉課分) 事業所数17か所 利用者 延べ275人 (注)障害者と障害児を合わせた数	(障害者福祉課分) 事業所数 51か所 利用者数 延べ 6,165人 (精神保健福祉課分) 事業所数 22か所 利用者数 延べ 449人 (注)障害者と障害児を合わせた数	(障害者福祉課分) 事業所数 49か所 利用見込者数 延べ6,420人 (精神保健福祉課分) 事業所数 24か所 利用見込者数 延べ658人 (注)障害者と障害児を合わせた数	(障害者福祉課分) 事業所数 49か所 利用見込者数 延べ7,319人 (精神保健福祉課分) 事業所数 27か所 利用見込者数 延べ966人 (注)障害者と障害児を合わせた数	継続実施	障害者福祉課 地域生活支援担当 054-221-1198 精神保健福祉課 企画担当 054-249-3179	市HP(障害者福祉課) 障害者福祉のしおり 精神保健福祉のしおり	(障害者福祉課分) 150,351 の一部	(障害者福祉課分) 37,793 の一部
169	継		日中一時支援事業	障害のある人の一時的な見守り・その他支援のため、日中の施設利用に対する費用の一部を助成します。	事業所数 25か所 (うち放課後支援8か所) 利用者数 延べ 4,128人 (うち放課後支援1,489人) (注)障害者と障害児を合わせた数	事業所数 27か所 (うち放課後支援9か所) 延べ利用者数 延べ 3,119人 (うち放課後支援 延べ2,333人) (注)障害者と障害児を合わせた数	事業所数 30か所 (うち放課後支援9か所) 利用者数 延べ 1,394人 (うち放課後支援824人) (注)障害者と障害児を合わせた数	事業所数 21か所 利用見込者数 延べ 741人 (注)障害者と障害児を合わせた数	事業所数 21か所 利用見込者数 延べ766人 (注)障害者と障害児を合わせた数	継続実施	障害者福祉課 地域生活支援担当 054-221-1198	市HP(障害者福祉課) 障害者福祉のしおり	11,155	2,790
170	継		障害者タクシー料金助成事業	重度障害のある人の移動手段を確保するため、タクシー利用料金又は車いす用タクシー利用料金の一部を助成します。	交付者数 3,870人 (注)障害者と障害児を合わせた数	交付者数 普通タクシー券 3,528人 車いす用タクシー券 98人 (注)障害者と障害児を合わせた数	交付者数 普通タクシー券 3,592人 車いす用タクシー券 91人 (注)障害者と障害児を合わせた数	交付見込者数 普通タクシー券 3,570人 車いす用タクシー券 118人 (注)障害者と障害児を合わせた数	交付見込者数 普通タクシー券 3,593人 車いす用タクシー券 111人 (注)障害者と障害児を合わせた数	継続実施	障害者福祉課 地域生活支援担当 054-221-1198	市HP(障害者福祉課) 「福祉のしおり」	28,789	28,789

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
171	継 ま		相談支援事業	障害のある人等が障害福祉サービスを利用しつつ、その有する能力や適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、地域の障害のある人等の福祉に関する各般の問題につき、障害のある人等又はその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言その他必要な支援を行います。	継続実施(障害) 障害者等相談支援事業(身体障害) 相談件数 4,642件 事業所数 3か所 障害者等相談支援事業(知的障害) 相談件数 7,007件 事業所数 4か所 (精神) 精神障害者等相談支援事業 相談件数 2,244件 事業所数 3か所 (注)障害者と障害児を合わせた数	継続実施(障害) 障害者等相談支援事業(身体障害) 相談件数 7,428件 事業所数 3か所 障害者等相談支援事業(知的障害) 相談件数 7,093件 事業所数 4か所 (精神) 精神障害者等相談支援事業 相談件数 2,334件 事業所数 3か所 (注)障害者と障害児を合わせた数	継続実施(障害) 障害者等相談支援事業(身体障害) 相談件数 8,736件 事業所数 3か所 障害者等相談支援事業(知的障害) 相談件数 9,388件 事業所数 4か所 (精神) 精神障害者等相談支援事業 相談件数 2,528件 事業所数 3か所 (注)障害者と障害児を合わせた数	継続実施(障害) 障害者等相談支援事業(身体障害) 相談件数 8,200件(見込) 事業所数 3か所(見込) 障害者等相談支援事業(知的障害) 相談件数 9,500件(見込) 事業所数 4か所(見込) (精神) 精神障害者等相談支援事業 相談件数 2,500件(見込) 事業所数 3か所(見込) (注)障害者と障害児を合わせた数	継続実施(障害) 障害者等相談支援事業(身体障害) 相談件数 8,200件(見込) 事業所数 3か所(見込) 障害者等相談支援事業(知的障害) 相談件数 9,500件(見込) 事業所数 4か所(見込) (精神) 精神障害者等相談支援事業 相談件数 2,500件(見込) 事業所数 3か所(見込) (注)障害者と障害児を合わせた数	継続実施 障害者福祉課 地域生活支援担当 054-221-1198 精神保健福祉課 企画担当 054-249-3179	静岡市障害者福祉計画 精神保健福祉のしおり	(障害) 83,970 の一部	(障害) 62,154 の一部	
172	継		発達障害者支援体制整備事業	発達障害者支援体制の実態を把握した上で、今後の発達障害者支援の在り方を検討すること等により、乳幼児から成人期までの一貫した支援体制の整備を図るとともに、発達障害についての理解啓発を図ります。	・発達障害者支援体制整備検討委員会開催(2回) ・市民向け講演会の開催(1回) ・相談支援ファイル作成 ・市職員の専門研修会への派遣	・発達障害者支援体制整備検討委員会開催(2回) ・市民向け講演会の開催(1回) ・相談支援ファイルの試行活用 ・発達障害者支援実態調査の実施	・発達障害者支援体制整備検討委員会開催(2回) ・市民向け講演会の開催(1回) ・発達障害者支援サポートコーチの派遣 ・相談支援ファイル配布、検証 ・発達障害者支援実態調査の実施	・発達障害者支援体制整備検討委員会開催(2回) ・発達障害者支援サポートコーチの派遣 ・相談支援ファイル配布、検証 ・発達障害者支援実態調査の実施	・発達障害者支援体制整備検討委員会開催(2回) ・発達障害者支援サポートコーチの派遣 ・ペアレントメンターの活用 ・相談支援ファイル配布、検討 ・発達障害者支援実態調査の実施	継続実施 障害者福祉課 地域生活支援担当 054-221-1198	市HP(障害者福祉課) 静岡市発達障害者支援センターHP	12,000	3,030	
173	継		発達障害者支援センター運営事業	発達障害のある人への支援を専門に行う拠点として、発達障害に関する各般の問題について本人又は家族からの相談に応じ、適切な指導又は助言を行うとともに、研修等を通して関係機関等との連携を図ります。	相談支援 773件 発達支援 1209件 就労支援 35件 関係機関への研修 延べ3,324人参加 (注)障害者と障害児を合わせた数	相談支援 768件 発達支援 1,497件 就労支援 58件 関係機関への研修 延べ3,004人参加 (注)障害者と障害児を合わせた数	相談支援 841件 発達支援 1,632件 就労支援 145件 関係機関への研修 延べ3,509人参加 (注)障害者と障害児を合わせた数	相談支援 800件(見込) 発達支援 1,200件(見込) 就労支援 50件(見込) 関係機関への研修 延べ2,500人参加 (注)障害者と障害児を合わせた数	相談支援 800件(見込) 発達支援 1,200件(見込) 就労支援 50件(見込) 関係機関への研修 延べ2,500人参加 (注)障害者と障害児を合わせた数	継続実施 障害者福祉課 地域生活支援担当 054-221-1198	市HP(障害者福祉課) 静岡市発達障害者支援センターHP	33,415	16,591	
174	継		身体障害者手帳の交付決定	身体障害の程度についての審査を行い、身体障害者手帳を交付します。	新規交付 1,971件 (うち18歳未満31件)	新規交付 1,872件 (うち18歳未満27件)	新規交付 1,938件 (うち18歳未満35件)	継続実施 新規交付 1,927件 (うち18歳未満31件)	継続実施 新規交付 2,000件 (うち18歳未満30件)	継続実施 地域リハビリテーション推進センター 地域リハビリ・更生相談担当 054-249-3182	年度版「事業のあゆみ」	2,570	2,570	

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
175	継		障害者歯科保健センター運営事業	心身に障害のある人で一般の歯科診療所では治療が困難な人の歯科診療や、歯や口、食べることなどの困りごと相談に応じたり、障害者通所施設での歯科保健活動や歯科健診を行います。	診療日数 232日 診療者数 2,634人 (実患者数 568人) 啓発事業 31回 339人	診療日数 248日 診療者数 2,574人 (実患者数621人) 啓発事業 143回 2,496人	診療日数 235日 診療者数 2,389人 啓発事業 196回 3,330人	診療日数(見込) 247日 診療者数(見込) 1,928人 啓発事業(見込) 195回 3,188人	診療日数(計画) 188日 診療者数(計画) 1,950人 啓発事業(計画) 190回 3,150人	障害児通園施設、特別支援学校のかかりつけ歯科保持率80%、通園施設、特別支援学校・学級の保護者への講話を年2回以上、地域障害乳幼児対象の食べ方相談教室利用者延べ30人	健康づくり推進課 障害者歯科保健センター 054-249-3147	市HP(健康づくり推進課) チラシ	17,391	5,922
176	継		自立支援医療(育成医療)の給付	身体上の障害のある児童(18歳未満)や現在の病気を放置すると将来障害を残すと認められる児童で、治療によって確実な効果が期待される場合、その医療費の一部を公費で負担します。	給付件数 869件	給付件数 1,044件	給付件数 973件	給付件数1,080件	給付件数1,171件	継続実施	保健予防課 医療援護担当 054-249-3170	市HP(保健予防課) チラシ	33,282	8,424
177	継		精神障害者保健福祉手帳の交付	各種の支援を受けやすくすることにより、社会復帰と社会参加の促進、社会的自立を図るため、一定の精神障害の状態にあると認定された人に対して手帳を交付します。	手帳所持者数 3,160人	手帳所持者数 3,442人	手帳所持者数 3,592人 (注)障害者と障害児を合わせた数	継続実施 手帳所持者数(計画) 3,860人(見込) (注)障害者と障害児を合わせた数	継続実施 4,157人(見込) (注)障害者と障害児を合わせた数	継続実施	精神保健福祉課 企画担当 054-249-3179	市HP(精神保健福祉課) 精神保健福祉のしおり	552 の一部	552 の一部
178	継	精神障害のある人	自立支援医療(精神通院医療)の給付	精神障害のある人がその障害の軽減又は改善を図るための治療を指定医療機関で行った場合、保険診療に係る自己負担分の一部を公費で負担します。	受給者証交付件数 6,953件	受給者証交付件数 7,507件	受給者証交付件数 7,569件 (注)障害者と障害児を合わせた数	継続実施 受給者証交付件数(計画) 7,686件(見込) (注)障害者と障害児を合わせた数	継続実施 8,139件(見込) (注)障害者と障害児を合わせた数	継続実施	精神保健福祉課 企画担当 054-249-3179	静岡市障害者福祉計画 市HP(精神保健福祉課) 精神保健福祉のしおり	937207 の一部	475350 の一部
179	継		精神障害者入院医療費の助成	精神障害により入院した人(任意入院、医療保護入院)の療養を推進し、精神障害のある人やその保護者等の入院医療費を軽減するため、自己負担金の一部を助成します。	助成件数 4,722件	助成件数 4,932件	助成件数 4,882件 (注)障害者と障害児を合わせた数	助成件数 4,560件 (注)障害者と障害児を合わせた数	継続実施 4,744件 (注)障害者と障害児を合わせた数	継続実施	精神保健福祉課 相談支援担当 054-249-3174	静岡市障害者福祉計画 市HP(精神保健福祉課) 精神保健福祉のしおり	47440 の一部	47440 の一部
180	継	精神障害者保健福祉手帳を所持している人	精神障害者交通費助成事業	精神障害者保健福祉手帳を所持する人の社会参加を促進するため、電車やバスの乗車券(トイカ・ルルカ)を交付します。	交付件数 2,407件	交付件数 2,646件	交付件数 2,771件 (注)障害者と障害児を合わせた数	交付件数 2,950件 (注)障害者と障害児を合わせた数	継続実施 3,200件 (注)障害者と障害児を合わせた数	継続実施	精神保健福祉課 相談支援担当 054-249-3174	静岡市障害者福祉計画 市HP(精神保健福祉課)	19200 の一部	19200 の一部
合 計													1,303,928	391,028

(注1)「平成26年度当初予算額」の「合計」について、欄内にある「No.〇〇に含む」や「〇〇〇の一部」などの表現をしている予算額は、他事業と切り分けができないことや事業対象者に子ども以外を含んでいるなどの理由により、合計額に含めていません。
(注2)「平成25年度実績(見込)」については、平成26年9月頃にあらためて確定値を公表します。
(注3)本一覧表は、平成26年2月24日に取りまとめた状況です。

施策目標4「子どもの「生きる力」をはぐくむ教育環境づくり」
基本施策1「学校における教育環境の整備」

※「区分」欄の説明

「継」⇒前年度から単に継続する事業、「新」⇒平成26年度からの新規事業、「重」⇒子どもプラン上の重点施策、「ま」⇒まちみがき戦略推進プラン事業、「拡」⇒平成26年度に拡大・拡充する事業、「終」⇒終了した事業

単位：千円

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
181	継	就学前小学生	消防署の見学	保育園・幼稚園児と小学生を対象に、消防署を見学し、119番通報から消防自動車や救急車の出動のあらしや消防署の仕事などを見学します。	開催日数 108日 参加者 6,107人	開催日数 93日 参加者 5,864人	開催日数 93日 参加者 6,175人	開催日数 97日 参加者 6,191人	継続実施(原則として、管内保育園、幼稚園、小学校等からの申し込みに応じ実施)	消防署の見学希望を100%受け入れる。(消防署の災害出動及び訓練等業務上支障の無い範囲)	各消防署	—	0	0
182	継		夏休み子ども消防教室の開催	夏休み期間(8月)の消防署見学等を通して、消防の仕事や学ぶとともに、火災予防教育を実施します。	開催回数 延べ7回 参加者数 417人	開催回数 延べ7回 参加者数 176人	開催回数 延べ7回 参加者数 286人	開催回数 延べ7回 参加者数 202人	各消防署及び分署にて実施予定。消防署によっては午前午後1回ずつ2回実施予定。	6消防署1分署にて各1回実施 300人参加	予防課 予防担当 054-255-9701	市HP(予防課) 市広報紙	10	10
183	継	就学前小学生 中学生	国際理解教育の推進	幼稚園、小中学校の行事や学習時間において講師を派遣し、自国や他地域・他国の伝統や文化を学ぶなど、国際理解教育を推進します。	講師派遣回数 6件	講師派遣回数 2件	講師派遣回数 6件	講師派遣回数 6件	幼稚園・小中学校の要請に応じて、講師等を派遣する。	幼稚園・小中学校の要請に応じて、講師等を派遣する。	学校教育課 指導担当 054-354-2519	—	0	0
184	継重		特別支援教育推進事業	特別な教育的支援を必要とする幼児や児童生徒を支援するため、幼稚園や小中学校に特別支援教育支援員を配置します。	市内幼稚園に4人、小中学校に100人	市立幼稚園に3人、小中学校に127人	市立幼稚園に3人、小中学校に131人	市立幼稚園に2人、小中学校に132人	市立幼稚園に4人、小中学校に154人配置。	市立幼稚園に2人、小中学校に154人配置。	学校教育課 (特別支援教育センター) 054-255-3600	市広報紙	118,571	118,571
185	継	小学生	複式学級への非常勤講師配置事業	市内の複式学級を有する小学校に非常勤講師を配置し、基本4教科(国語、社会、算数、理科)の授業を学年単位で実施し、複式による授業の改善を図ります。	複式学級があるすべての小学校(12校)に非常勤講師を配置	複式学級があるすべての小学校(16校)に非常勤講師を配置	複式学級があるすべての小学校(18校)に非常勤講師を配置	複式学級があるすべての小学校(18校)に非常勤講師を配置	複式学級があるすべての小学校(18校)に非常勤講師を配置	複式学級があるすべての小学校(18校)に非常勤講師を配置	教職員課 人事担当 054-354-2508	—	41,903	41,903
186	継		不登校の状態にある児童生徒のための適応指導教室の運営	不登校児童生徒のための適応指導教室を設置し、集団生活への適応や学校生活への復帰を支援するためのカウンセリング及び学習等を組織的かつ計画的に実施します。	「ふれあい」「はばたく」の2教室開級 開級日数 175日 通級生 39人	「ふれあい」「はばたく」の2教室開級 開級日数 175日 通級生 51人	「ふれあい」「はばたく」の2教室開級 開級日数 175日 通級生 48人	「ふれあい」「はばたく」の2教室開級 開級日数 175日 継続実施	「ふれあい」「はばたく」の2教室開級 開級日数 175日 継続実施	「ふれあい」「はばたく」の2教室開級 開級日数 175日	青少年育成課 子ども若者相談センター 054-221-1314	市HP(青少年育成課) リーフレット	5,262	5,120
187	継		港の広報活動(清水港見学会)	清水港の重要性や役割、取扱量統計等の具体的な講義、臨海地区や海上からの見学を通して、港に対する理解を深めます。	市内小学校を対象に申し込みがあった学校に対して実施。 32校、2,731人参加	市内小中学校を対象に申し込みがあった学校に対して実施した。 29校、2,746人参加	小学校30校、2,887人	小学校33校、3,100人	小学校35校、3,000人	市内小中学校を対象に申し込みがあった学校に対して実施	清水港振興課 企画担当 054-354-2432	見学会周知用チラシ 市社会科主任者への説明 見学会資料(ビデオ、パンフレット)	237	237
188	終		農業体験教育事業(小中学校農業体験教室)	田植え、さつまいもの収穫などの農業体験を通して、自然に親しみを持たせるとともに、地域や食物への関心を深めます。	開催回数 26回 参加者数 延べ2,087人	開催回数 15回 参加者数 延べ754人	開催回数 5回 参加者数 延べ361人	開催回数 2回 参加者数 延べ59人	(青少年育成課に所管替えを行い、No.186「適応指導教室の運営事業」の中で実施。)※担当者調整済み。	開催回数 10回 参加者数 延べ500人	農業政策課 みかん・園芸・畜産担当 054-354-2097	—	—	—

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
189	継		学校応援団推進事業	子どもの健やかな育成と家庭・地域の教育力の向上を図るため、学校にコーディネーターを配置し、ボランティアによる地域社会の協力を得て、登下校の見守りや授業の補助などの活動を行います。	小学校13校で継続実施 新たに中学校3校で実施	小学校13校で継続実施 中学校3校で継続実施	・市内13ブロックに学校支援地域本部を設置 ・市内全小中学校129校において、応援団活動100%実施 ・活動に必要な消耗品購入のための予算措置	・市内13ブロックに学校支援地域本部を設置 ・市内全小中学校129校において、応援団活動100%実施 ・活動に必要な消耗品購入のための予算措置	・市内13ブロックに継続設置 ・市内全小中学校129校での継続実施 ・消耗品購入のための予算措置 ・応援団活動及び地域人材の発掘・育成の推進	学校応援団推進事業の全校のうち100パーセントの実施。	教育総務課 教育政策担当 054-354-2505	市HP(教育総務課) 市広報紙 リーフレット 市広報ビデオ	16,127	12,110
190	継		ICTを生かした教育の推進	市内小中学校へICT教育機器を整備し、各教科、道徳、特別活動又は総合的な学習の時間などで活用します。 ※ICTとは、情報(Information)や通信(Communication)に関する技術(Technology)の総称。特に教育では、ネットワークを生かして情報や知識の共有を図ることを目指しています。	小学校86校、中学校43校で継続実施	小学校86校、中学校43校で継続実施	小学校86校、中学校43校で継続実施	小学校86校、中学校43校で継続実施	小学校86校、中学校43校で継続実施	小学校86校、中学校43校で継続実施	学校教育課 企画管理担当 054-354-2533	—	237,142	237,142
191	継		環境教育の推進	豊かな自然や身近な地域での様々な体験活動を通して、環境に対する関心を培うことを目的に、環境教育を推進します。	全小中学校で地域の特性に応じて実施	全小中学校で地域の特性に応じて実施	全小中学校で地域の特性に応じて実施	全小中学校で地域の特性に応じて実施	全小中学校で地域の特性に応じて実施	全小中学校で地域の特性に応じて実施	学校教育課 指導担当 054-354-2519	—	0	0
192	継	小学生 中学生	キャリア教育の推進	小中学生の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育てることを目的としたキャリア教育を、中学生職場体験学習を中心に推進します。	全中学校において連続3日間以上の職場体験学習を実施	・全中学校において連続3日間以上の職場体験学習を実施 ・「職場体験学習パンフレット」、キャリア教育資料「仕事図鑑」作成	・全中学校において連続3日間以上の職場体験学習を実施。 ・小中学校間で連携して取り組むキャリア教育の推進。	・全小中学校において連続3日間以上の職場体験学習を実施 ・全中学校において連続3日間以上の職場体験学習を実施 ・小中学校間で連携して取り組むキャリア教育の推進	・全小中学校において連続3日間以上の職場体験学習を実施 ・全中学校において連続3日間以上の職場体験学習を実施 ・小中学校間で連携して取り組むキャリア教育の推進	・全小中学校において連続3日間以上の職場体験学習を実施 ・全中学校において連続3日間以上の職場体験学習を実施 ・小中学校間で連携して取り組むキャリア教育の推進	学校教育課 企画管理担当 054-354-2533	市HP(学校教育課)	83	83
193	継		福祉教育の推進	教科、総合的な学習、道徳又は特別活動等を通して、学校や地域の実態に応じて福祉に関わる学習や活動を推進します。	小中学校で地域の特性や学校の実態に応じて実施	各小中学校で地域の特性や学校の実態に応じて実施	各小中学校で地域の特性や学校の実態に応じて計画的に実施していく	各小中学校で地域の特性や学校の実態に応じて計画的に実施していく 福祉協議会との連携を図る	教科、総合的な学習、道徳、特別活動等を通して、学校や地域の実態に応じて福祉協議会と連携しながら計画的に学習活動を推進していく。	各小中学校で地域の特性や学校の実態に応じて実施し、培いたい資質、能力や態度を育成していく。	学校教育課 指導担当 054-354-2519	—	0	0
194	継		日本語指導が必要な児童・生徒への支援	日本語児童が必要な児童生徒が、日本語の初期指導を継続的に受け、日常生活に必要な日本語を習得するとともに、学校生活全般に適応するために支援します。	通級指導実施回数 1人あたり年33回 訪問指導実施回数 446回 適応相談実施回数 44回	通級指導実施回数 1人あたり年33回 訪問指導実施回数 450回 適応相談実施回数 30回	通級指導実施回数 1人あたり年33回 訪問指導実施回数 318回 適応相談実施回数 16回	・通級指導実施回数 1人あたり年28回 ・訪問指導実施回数 320回 ・適応相談実施回数 20回	・通級指導実施回数 1人あたり年28回 ・訪問指導実施回数 320回 ・適応相談実施回数 20回	継続実施	学校教育課 企画管理担当 054-354-2533	市HP(学校教育課) 教育紹介冊子「学校大すき！」	6,162	6,162

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
195	継重		スクールカウンセリング事業	いじめ、不登校又は問題行動など、児童生徒の心の問題に対応するため、スクールカウンセラーや教育相談員を小中学校に配置し、児童生徒、保護者などへの相談活動を実施します。	スクールカウンセラー34人 小学校は月4～8時間 中学校は週6～8時間 教育相談員35人 4学級以上の中学校に1日5時間×週3日	スクールカウンセラー35人 小学校は月4～8時間 中学校は週4～8時間 教育相談員34人 4学級以上の中学校に1日5時間×週3日	スクールカウンセラー34人 小学校は月4～10時間 中学校は週6～8時間 教育相談員36人 4学級以上の中学校に1日5時間×週3日	スクールカウンセラー32人 小学校は週3 中学校は週6～8時間 教育相談員33人 生徒数200人以上の中学校に1日4時間×週3日	スクールカウンセラー35人 小学校は週3 中学校は週6～8時間 教育相談員34人 生徒数200人以上の中学校に1日5時間×週3日	○スクールカウンセラー40人 小学校は週4時間 中学校は週4～8時間 ○教育相談員36人 4学級以上の中学校に1日5時間×週5日	学校教育課 企画管理担当 054-354-2533	市広報紙	84,989	62,551
196	継重		スクールソーシャルワーカー活用事業	小中学校にスクールソーシャルワーカーを配置又は派遣し、いじめ、不登校又は暴力行為その他の学校生活における諸問題を抱える児童生徒に必要な支援を行い、学校生活上の諸問題の解決を図ります。	スクールソーシャルワーカー4人 小学校8校に週1日(6時間)配置。また要請があった小中学校に随時派遣	スクールソーシャルワーカー5人 小学校10校に週1日(6時間)配置。また要請があった小中学校に随時派遣	スクールソーシャルワーカー5人 小学校10校に週1日(6時間)配置。また要請があった小中学校に随時派遣	スクールソーシャルワーカー4人 小学校10校に週1日(6時間)配置。また要請があった小中学校に随時派遣	スクールソーシャルワーカー5人 小学校10校に週1日(6時間)配置。また要請があった小中学校に随時派遣	○スクールソーシャルワーカー12人 ○12支部の拠点校にそれぞれ週2日(14時間)配置。	学校教育課 企画管理担当 054-354-2533	—	8,035	5,357
197	拡ま		学校図書館教育推進事業	12学級以上の小中学校に置かれた司書教諭及び図書館担当者の補佐役として学校司書を配置し、授業等による計画的活用を図るとともに、児童生徒が主体的に学習に活用できる場としての充実を図ります。	市内12学級以上の小中学校85校に学校司書を配置	市内10学級以上の小中学校93校に学校司書を配置	市内8学級以上の小中学校96校に学校司書を配置	市内6学級以上の小中学校103校に学校司書を配置	市内6学級以上の小中学校105校に学校司書を配置	市内6学級以上の小中学校に学校司書を配置。	学校教育課 指導担当 054-354-2519	市広報紙	60,041	60,041
198	継ま		学力アップサポート事業	全国学力・学習状況調査による分析を参考にしながら、有償ボランティアを派遣し放課後の学習指導を行います。	未実施	平成24年度より実施	全国学力・学習状況調査の分析をもとに、モデル校6校に有償ボランティアを配置し、実践研究を行う。	全国学力・学習状況調査の分析をもとに、モデル校6校(平成24年度から継続)に有償ボランティアを配置し、実践研究を行う。	全国学力・学習状況調査の分析をもとに、モデル校12校に有償ボランティアを配置し、実践研究を行う。	全国学力・学習状況調査の集計分析をもとに、有償ボランティアを20校に配置する。	学校教育課 指導担当 054-354-2519	—	20,520	20,520
199	継	小学生 中学生 高校生	次世代育成プロジェクト事業	小中高校の児童生徒が、様々な専門家等から静岡のすばらしい産業や文化について学んだり、職場体験等を通して、進路や職業について考えます。	スペシャリスト派遣事業 45校56件以上の実施 民間教育力活用事業 1校当たり3万円補助 職場体験学習 全中学校で連続3日間以上実施	スペシャリスト派遣事業 48校50件以上の実施 民間教育力活用事業 1校当たり3万円補助 職場体験学習 全中学校で連続3日間以上実施	スペシャリスト派遣事業 53校56件の実施 民間教育力活用事業 1校当たり3万円補助、 講師活用件数484件 職場体験学習 全中学校で連続3日間以上実施	・「終」スペシャリスト派遣事業 ・民間教育力活用事業 1校あたり2万9千円補助 ・職場体験学習 全中学校で連続3日間以上実施	・民間教育力活用事業 1校あたり2万5千円補助 ○職場体験学習 全中学校で連続3日間以上実施	○民間教育力活用事業 1校当たり29千円補助 ○職場体験学習 全中学校で連続3日間以上実施 (終)スペシャリスト派遣事業	学校教育課 企画管理担当 054-354-2533	市HP(学校教育課) 静岡市中学生職場体験学習リーフレット	3,684	3,684
200	継	中学生	中学生国際交流資金貸付基金事業	市内中学校が国際交流を促進するため、海外の中学校を訪問して交流を行う中学生の保護者に対し、交流に必要な資金を無利子で貸し付けます。	貸付実績 0件	貸付実績 0件	貸付実績 0件	継続実施	継続実施	継続実施	学校教育課 企画管理担当 054-354-2533	市HP(学校教育課)	10	10
201	継	幼稚園・ 保育園関係者	幼児教育研究推進事業	幼稚園と保育園それぞれの良さを取り入れた教育(保育)の実現を図るため、教育(保育)内容や運営方法について、幼稚園や保育園に紹介し、幼保一元化の研究を含めた幼児教育の在り方について研究します。	研究委員会3回開催 委員同士の幼稚園、保育園の交流 報告書の作成と市立幼稚園、保育園への配布	研究委員会3回開催 新たに支部幼保協議会の実施(保育公開、意見交換会) 報告書の作成と市立幼稚園、保育園への配布	研究委員会3回実施 支部幼保協議会の継続実施 報告書の作成と市立幼稚園、保育園への配布	研究委員会3回実施 支部幼保協議会の継続実施 報告書の作成と市立幼稚園、保育園への配布	研究委員会3回実施 支部幼保協議会の継続実施 報告書の作成と市立幼稚園、保育園への配布	継続実施	教育総務課 教育政策担当 054-354-2505	—	50	50

掲載 No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 実績	平成25年度 実績(見込)	平成26年度 取組内容(計画)	平成26年度末 目標値	担当課・連絡先	事業の詳細 が分かる媒体等	平成26年度 当初予算額	
													予算額	うち一財
202	継	教職員	特別支援教育研修会の開催	教職員等を対象に、特別支援教育研修会、言語・発達教室担当者研修会、特別支援教育コーディネーター養成・専門研修会などを実施します。	特別支援教育研修会年3回、特別支援教育コーディネーター養成研修会年4回、特別支援教育コーディネーター専門研修会年5回	特別支援教育研修会年3回、言語・発達教室担当者研修会年3回、特別支援教育コーディネーター養成研修会年4回、特別支援教育コーディネーター専門研修会年5回、特別支援学級担任研修会年1回、新任特別支援学級担任教員・新任通級指導教室担当教員研修会年5回実施	特別支援教育研修会年3回、言語・発達教室担当者研修会年3回、特別支援教育コーディネーター養成研修会年4回及び特別支援教育コーディネーター専門研修会年5回、特別支援学級担任研修会年1回、新任特別支援学級担任教員・新任通級指導教室担当教員研修会年5回、通常学級における特別支援教育研修会年4回を開催	特別支援教育研修会年3回、言語・発達教室担当者研修会年3回、特別支援教育コーディネーター研修会年4回、特別支援学級担任研修会年2回、新任特別支援学級担任教員・新任通級指導教室担当教員研修会年5回、通常の学級における特別支援教育研修会年4回、教科指導力向上研修(特別支援学級)年7回	特別支援教育研修会年3回、言語・発達教室担当者研修会年3回、特別支援教育コーディネーター研修会年4回、特別支援学級担任研修会年1回、新任特別支援学級担任教員・新任通級指導教室担当教員研修会年5回、通常の学級における特別支援教育研修会年4回、教科指導力向上研修(特別支援学級)年7回	特別支援教育研修会年3回、言語・発達教室担当者研修会年3回、特別支援教育コーディネーター研修会年5回、特別支援学級担任研修会年1回、新任特別支援学級担任教員・新任通級指導教室担当教員研修会年5回、通常の学級における特別支援教育研修会年4回、教科指導力向上研修(特別支援学級)年7回	学校教育課(特別支援教育センター) 054-255-3600 教育センター 研修担当 054-251-3288	静岡市教育センター 研修ガイドブック	430	430
合 計												603,256	573,981	

(注1)「平成26年度当初予算額」の「合計」について、欄内にある「No.〇〇に含む」や「〇〇〇の一部」などの表現をしている予算額は、他事業と切り分けができないことや事業対象者に子ども以外を含んでいるなどの理由により、合計額に含めていません。

(注2)「平成25年度実績(見込)」については、平成26年9月頃にあらためて確定値を公表します。

(注3)本一覧表は、平成26年2月24日に取りまとめた状況です。

施策目標4「子どもの「生きる力」をはぐくむ教育環境づくり」
基本施策2「地域や家庭における教育環境の整備」

※「区分」欄の説明

「継」⇒前年度から単に継続する事業、「新」⇒平成26年度からの新規事業、「重」⇒子どもプラン上の重点施策、「ま」⇒まちみがき戦略推進プラン事業、「拡」⇒平成26年度に拡大・拡充する事業、「終」⇒終了した事業

単位：千円

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
203	継	妊婦 0歳～1歳 保護者	ハローベビー 赤ちゃんのための読み聞かせ講座の開催	読み聞かせ初心者の保護者を対象とした読み聞かせ講座で、読み聞かせの大切さ、絵本の選び方・与え方の話やわらべ歌・手遊び、赤ちゃん絵本の読み聞かせの実演をします。	市内12館全図書館で実施 948人が参加	市内12館全図書館で実施 878人が参加	市内全図書館にて実施 71回、901人が参加	予算削減のため回数を減らし、全図書館で継続実施	全図書館で継続して実施	継続実施	中央図書館 サービス担当 054-247-6711	市広報紙(毎月15日号)	104	104
204	継	0歳～中学生 保護者	生涯学習の推進	市内生涯学習施設において、乳幼児・小中学生及びその保護者を対象に、親子クッキング講座、自然体験講座、科学実験教室及び工作教室などを実施します。	市内生涯学習施設で実施 全292講座実施	市内生涯学習施設で実施 全146講座実施	市内生涯学習施設で実施 全249講座実施	市内生涯学習施設で実施 187講座実施(上半期)	継続実施	継続実施	生涯学習推進課 事業担当 054-221-1207	生涯学習施設HP 市広報紙 生涯学習施設館報 チラシ	指定管理料等 (868,019千円)の一部	指定管理料等 (868,019千円)の一部
205	継	6か月児 保護者	ブックスタート事業	各保健福祉センターで行われる6か月児育児相談において、おすすめの絵本などが入ったブックスタートパックをメッセージを添えて渡します。	全保健福祉センターで実施 192回、5,234人	全保健福祉センターで実施 192回、5,422人	市内全保健福祉センターで実施。 192回、5,180組	全保健福祉センターで継続して実施	全保健福祉センターで継続して実施	全保健福祉センターで継続して実施	中央図書館 サービス担当 054-247-6711	6か月児育児相談案内状	6,012	6,012
206	継	1歳6か月児 保護者	ブックステップ事業	ブックスタート事業のフォローアップとして、保健福祉センターで行われる1歳6か月児健康診査において実施します。	市内5か所の保健福祉センターで実施 参加者2,796人	市内7か所の保健福祉センターで実施 参加者3,507人	市内7か所の保健福祉センターで実施 102回、3,899組が参加	市内7か所の保健福祉センターで実施	実施会場の拡大を目指し、継続して実施	実施箇所を拡大し、継続して実施	中央図書館 サービス担当 054-247-6711	ブックステップ時に配布するブックリスト	690	690
207	継	1歳～3歳 就学前 小学生 中学生	ふれあいワンワン教室の開催(動物愛護教室の開催)	市内幼稚園や保育園を訪問し、寸劇による犬とのふれあい方を学んだり、犬猫とふれあうことにより、幼児が犬に咬まれる事故の防止や命の尊さ、動物愛護精神を養います。	市内幼稚園・保育園を対象に17回実施。	開催回数 2回 参加人数 104人	開催回数 2回 参加人数 124人	開催回数 2回 参加人数 100人	開催回数 2回 参加人数 100人	継続実施	動物指導センター 動物管理担当 054-278-6409	市HP(動物指導センター) 施設紹介パンフレット	0	0
208	継		人権教育事業	就学前児童に対して、絵本の読み聞かせ等による人権教育を行い、命の尊さや友達と仲良くする心をはぐくみ、一人ひとりが生きる喜びを感じる教育を行います。	保育園6園 1,000人	保育園10園 1,000人	保育園10園 1,225人	保育園7園 1,136人	保育園7園 800人	保育園等30園 5,000人	福祉総務課 地域福祉担当 054-221-1366	—	952	0

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
209	継	就学前	「あつまれ！ちびっこ消防隊」の実施	市内各幼年消防クラブ員が集まり、運動会形式のイベント(救急搬送リレー等)を実施することにより、火災予防教育の一環として実施します。	開催回数 2回 参加者数 1,676人	開催回数 1回 参加者数 1,081人 清水地区大会(参加予定401人)台風の影響により中止	開催回数 2回 参加者数 葵駿河区大会 653人 清水区大会 438人 計 1,091人 (葵駿河区大会は天候不順により予備日開催、当初参加予定者数1,206人)	開催回数 2回 参加者数 葵駿河区大会 1089人 清水区大会 432人 計 1521人	葵・駿河区支部1回、清水区支部で1回合計2回実施。	各区ごとに全3回開催 2,000人参加	予防課 予防担当 054-255-9701	市HP(予防課)	143	143
210	継	就学前 小学生	子ども対象火災予防普及啓発事業	子どもを対象とした火災予防に対する普及啓発イベントを、関係機関協力のもと、各地に出向いて実施します。	開催日数 8日間 参加者数 延べ1,760人	開催日数 13日間 参加者数 1,495人 春日保育園防火パレード(参加予定120人)天候不順により中止	開催日数 7日間 参加者数 延べ1,460人	開催日数 5日間 参加人数 延べ1877人 防火座談会 消防フェアinくるくる 防火パレード	科学館くるくるにて消防フェアを実施するほか、防火パレード等を実施予定。	参加者数延べ1,500人	予防課 予防担当 054-255-9701	市HP(予防課) 関係機関HP	0	0
211	終	就学前 小学生 中学生	子ども向け講座・学びの情報提供	学校週5日制における土日曜日の幼児や児童、生徒の自主的な学校外生活を支援するため、少年自然の家や市立図書館、動物園、科学館などの子ども向け企画などの情報を各公立幼稚園・小中学校へ提供します。	公立幼稚園14園 公立小学校86校 公立中学校43校 毎月配付	休刊	終了	—	—	終了 本事業は市立小中学校が週5日制を導入することに伴い、休日の学習支援を目的にスタートしたが、近年では週5日制が定着し、また、インターネットの普及により情報の提供と入手も容易となったことから、本事業は本来の役割を果たし終えたと判断し、H23年度休刊中にH24年度をもって終了することを決定した。	教育総務課 社会教育担当 054-354-2524	「ぎょうじよていひょう」 市HP(学校教育課)	—	—
212	継	就学前 小学生 中学生 高校生	こどもエコクラブ	子どもが環境を大切にすることを意識し、環境にやさしい暮らし方を実践していくため、「こどもエコクラブ」に登録すると、環境情報や取り組みやすい環境活動、他団体の様子などの情報が提供されます。	○参加者数 860人 ○参加団体数 15団体 ○クラブ数 15団体	○参加者数 869人 ○参加団体数 14団体 ○クラブ数 14団体	○参加者数 693人 ○参加団体数 10団体 ○クラブ数 10団体	○参加者数 749人 ○参加団体数 8団体 ○クラブ数 8団体	参加団体数 10団体	○参加者数 1,200人 ○参加団体数 20団体 ○クラブ数 30団体	清流の都創造課 環境創造担当 054-221-1319	市HP(清流の都創造課) 環境学習HP 周知・募集用文書	0	0
213	継	就学前 小学生 中学生 保護者	「子ども読書の日」イベントの開催	多くの市民に子どもの読書活動への関心と理解を深めてもらうため、4月23日の「子ども読書の日」に合わせて、各図書館でイベントを実施します。	全図書館でイベントを実施、全館での参加者329人	全図書館でイベントを実施、全館での参加者323人	市内全図書館でイベントを実施、12館、299人が参加	市内全図書館でイベントを実施、12館、298人が参加	全図書館でのイベントを継続して実施	全図書館でイベントを実施	中央図書館 サービス担当 054-247-6711	市HP(中央図書館) 市広報紙 図書館だより チラシ	53	53
214	継	農業体験教育事業(農業体験教室)	じゃがいも、さつまいもの収穫などの農業体験を通じて、自然に親しみを持たせるとともに、地域や食物への関心を深めたり、農業体験を通じて親子の絆を深めます。	開催回数 11回 参加者数 延べ409人	開催回数 26回 参加者数 延べ747人	開催回数 36回 参加者数 延べ533人	開催回数 14回 参加者数 延べ350人	開催回数 10回 参加者数 延べ250人	開催回数 30回 参加者数 延べ1,800人	農業政策課 みかん・園芸・畜産担当 054-354-2097	市広報紙	625	625	

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
215	終		キッズISOプログラム推進事業	地球環境問題に対する子どもの考えや取組をサポートするプログラムで、家庭で使用する電気・ガス・水道やごみを調べ、自ら気づき、考え、改善することで環境保全意識を高めます。	小学校4年生以上対象 参加校 4校 参加者数 317人	小学校4年生以上対象 参加校 5校 参加者数 287人	平成23年度をもって事業終了	平成23年度をもって事業終了	—	毎年度、小学校4年生以上対象 参加校 8校 参加人数 550人	清流の都創造課 環境創造担当 054-221-1319	周知・募集用文書	—	—
216	継		環境学習ハンドブック作成事業	環境テーマ別にハンドブックを作成し、小学校に配布します。	「もったいない」はごみをへらす合言葉！を作成 市内全小学校4年生に配布	「知ってみよう！なかよくなる！静岡市の川」を作成し、市内全小学校4年生に配布	「化石が教えてくれること」を作成し、市内全小学校4年生に配布	「駿河湾のめぐみ」を作成し、市内全小学校4年生に配布	「環境をテーマとしたハンドブックを市内全小学校4年生に配布	毎年度、市内全小学校4年生に配布。	清流の都創造課 環境創造担当 054-221-1319	市HP(清流の都創造課) 環境学習HP ハンドブック	600	600
217	継	小学生	産民官協働による訪問環境学習会の開催	市、シャープ株式会社及びNPO法人気象キャスターネットワークの3者の協働により、市内小学校を訪問し、地球温暖化とリサイクル・新エネルギーに関する環境学習会を開催します。	開催回数 13校	開催回数 12校	開催回数 13校	開催回数 0校	協働可能な企業等があれば、連携し環境学習会を開催予定。	開催回数 18校	清流の都創造課 環境創造担当 054-221-1319	周知・募集用文書	0	0
218	拡		放課後子ども教室推進事業	放課後における小学校を安心・安全で充実した子どもの居場所とするため、地域との連携により、児童に学習活動や体験活動等、様々な学びや交流の機会を設ける「放課後子ども教室」を設置します。	既設小学校 5校 新設小学校 2校 計 7校	既設小学校 7校 新設小学校 2校 計 9校	継続実施 既設小学校 9校 新設小学校 1校 計 10校	継続実施 既設小学校 10校 新設小学校 2校 計 12校	継続実施 既設小学校 12校 新設小学校 1校 計 13校	継続実施 実施校14小学校	教育総務課 社会教育担当 054-354-2524	—	23,508	15,823
219	継	小学生 中学生	プランクトン観察会の開催	東海大学との協働事業で、浄化センターの活性汚泥中の微生物や海中プランクトンを顕微鏡で観察し、家庭からの排水が河川から海へと流れる過程で、これら生物が果たしている役割を学習します。	開催回数 1回 小学生16人、中学生0人参加	開催回数 1回 小学生40人参加	開催回数 1回 小学生 38人参加	開催回数 1回 小学生 41名参加	開催回数 1回	開催回数 1回	清流の都創造課 環境創造担当 054-221-1319	市HP(清流の都創造課) 環境学習HP 市広報紙	0	0
220	継	小学生 中学生 高校生	福祉教育事業	福祉講演会や高齢者・障害のある人との交流活動など幅広く福祉教育学習の機会を提供し、児童生徒が実践を通して社会福祉への理解と関心を高め、社会連帯の精神を養います。	実施校 10校(小学校7校、中学校2校、高校1校)	実施校 8校(小学校5校、中学校1校、高校2校)	実施校11校(小学校6校、中学校1校、高校4校)	実践校13校(小学校10校、高校3校)	実践校14校(小学校12校、中学校1校、高校1校)	継続実施	福祉総務課 地域福祉担当 054-221-1366	—	158,782の一部	158,782の一部
221	継	小学生 中学生 高校生～ 概ね18歳 保護者	水のおまわりさん事業	小学生以上を対象として、身近な河川の水質を調査するためにCODパックテストと水生指標生物を用いた調査を実施し、水辺環境について考えます。	小学生以上対象 参加者数 1,063人 団体数 25団体	小学生以上対象 参加者数 611人(延べ943人) 団体数 18団体	小学生以上対象 参加者数 延べ1,606人 団体数 24団体	小学生以上対象 参加者数 延べ1,009人 団体数 22団体	小学生以上対象 参加者数 800人	毎年度、小学生以上対象 参加者 800人 参加団体 16団体	清流の都創造課 環境創造担当 054-221-1319	市HP(清流の都創造課) 環境学習HP 周知・募集用文書 市広報紙	140	140
222	継		親子消費者教室の開催	市内小学生とその保護者を対象に、身近な消費生活や食品に関する問題等様々なテーマに基づく実験や講義を実施し、消費生活に関する知識の普及を図ります。	親子9組21名	親子10組27名	1回開催 親子17組37人参加	1回開催 親子18組41人参加	1回開催予定	小学生とその保護者を対象とし、年1回実施	消費生活センター 消費生活担当 054-221-1054	市HP(消費生活センター) 市広報紙 周知用チラシ	5	5

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
223	継	小学生保護者	環境保健研究所「夏休み講座」の開催	小学校高学年とその保護者若しくは小学生～中学生*を対象に、環境保健研究所で行っている環境及び食品・微生物等に関する試験検査や調査研究について紹介し、また簡易な科学実験を体験します。 *変更は平成22年度以降に關してです。	青少年のための科学の祭典へ2回出展 参加人数 約470人	青少年のための科学の祭典へ2回出展 参加人数 約450人	青少年のための科学の祭典へ出展 参加人数 約200人	青少年のための科学の祭典へ出展 参加人数 約200人	青少年のための科学の祭典へ出展	青少年のための科学の祭典へ出展 参加人数200人	環境保健研究所 生活科学担当 054-285-2131	市HP(環境保健研究所) 市広報紙	150	150
224	継		子どもの本を学ぶ講座の開催	読書の喜びを子どもたちと分かち合うことを目的に、「静岡子どもの本を読む会」と共催して、企画・運営している講座で、子どもに関する各分野から、作家、画家又は翻訳家等を講師として招いて開催します。	開催回数9回 講座生220人、夏の講座参加者56人	開催回数9回 講座生194人 夏の講座参加者49人	9回開催、講座生178人(延べ955人)、夏の講座44人が参加	継続して講座、夏の講座を開催	継続して講座、夏の講座を開催	継続して講座、夏の講座を開催	中央図書館サービス担当 054-247-6711	市HP(中央図書館) 市広報紙 図書館だより チラシ	50	50
225	継	全市民	児童福祉週間啓発事業	児童福祉の理念の周知を図るとともに、市民の児童に対する理解と認識を深め、児童愛護の責任を自覚するよう強調することを目的として、毎年5月5日から1週間を「児童福祉週間」と定められており、啓発活動を実施します。	○3庁舎へ懸垂幕を掲示(4/28～5/11) ○静岡駅北口地下に啓発看板設置(4/28～5/11) ○市広報紙(4/15号)や市HP、子育て応援総合HP「ちゃむ」、子育てハンドブック(平成22年度版)へ掲載	○3庁舎へ懸垂幕を掲示 ○市広報紙(4/1号)や市HP、子育て応援総合HP「ちゃむ」、子育てハンドブック(平成23年度版)へ掲載	○清水区役所及び駿河区役所へ懸垂幕を掲示 ○静岡駅北口地下に啓発看板設置(4/29～5/6) ○県と共催での啓発キャンペーン実施 ○市広報紙(5/1号)や市HP、子育て応援総合HP「ちゃむ」、子育てハンドブック(平成24年度版)へ掲載	○清水区役所及び駿河区役所へ懸垂幕を掲示 ○静岡駅北口地下に啓発看板設置(5/5～5/10) ○県と共催での啓発キャンペーン実施 ○市広報紙(5/1号)や市HP、子育て応援総合HP「ちゃむ」、駿河区カレンダーへ掲載	○清水区役所及び駿河区役所へ懸垂幕を掲示 ○静岡駅北口地下に啓発看板設置(5/7～5/11) ○県と共催での啓発キャンペーン実施 ○市広報紙(5/1号)や市HP、子育て応援総合HP「ちゃむ」、子育てハンドブック(平成26年度版)、駿河区カレンダーへ掲載 予定	継続実施	子ども未来課 企画調整担当 054-221-1169	○市HP(子ども未来課) ○子育て応援総合HP「ちゃむ」 ○しずおかし子育てハンドブック ○駿河区カレンダー	51	51
合 計													33,083	24,446

(注1)「平成26年度当初予算額」の「合計」について、欄内にある「No.〇〇に含む」や「〇〇〇の一部」などの表現をしている予算額は、他事業と切り分けができないことや事業対象者に子ども以外を含んでいるなどの理由により、合計額に含めていません。
(注2)「平成25年度実績(見込)」については、平成26年9月頃にあらためて確定値を公表します。
(注3)本一覧表は、平成26年2月24日に取りまとめた状況です。

施策目標5「地域で子育て子育てを支え合う環境づくり」
基本施策1「世代間交流の促進」

※「区分」欄の説明

「継」⇒前年度から単に継続する事業、「新」⇒平成26年度からの新規事業、「重」⇒子どもプラン上の重点施策、「ま」⇒まちみがき戦略推進プラン事業、「拡」⇒平成26年度に拡大・拡充する事業、「終」⇒終了した事業

単位:千円

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
226	継重	0歳～3歳中学生～高校生保護者	青少年・乳児ふれあい促進事業	地域の子育て支援拠点施設である地域子育て支援センターや保健福祉センター、学校等の協力を得て、小学生高学年や中学生、高校生、大学生が、乳児とその保護者との交流や触れ合いを通して、命の尊さや子育てのすばらしさなどを体験します。	○全児童館(10館)で継続実施 ○南中学校(1校:5クラス)で実施 事前学習(クラス単位で10～11月に実施。)、ふれあい交流(クラス単位で11～12月に実施。)	○全児童館(10館)で継続実施 ○南中学校(6クラス)及び清水庵原中学校(3クラス)で実施 事前学習(クラス単位で10～11月に実施。)、ふれあい交流(クラス単位で11～12月に実施。)	○児童館(10館)で継続実施 ○南中学校(6クラス)、清水庵原中学校(3クラス)に、新しく清水第二中学校(8クラス)を加え3校で実施。 事前学習及びふれあい交流をクラス単位で6～7月、10～11月の期間で実施。	○児童館(10館)で継続実施 ○草薙児童館において、新規実施 ○南中学校(6クラス)、清水庵原中学校(3クラス)、清水第二中学校(9クラス)で実施。 事前学習及びふれあい交流をクラス単位で6～7月、10～12月の期間で実施。	○児童館(11館)で継続実施 ○児童館のない地区の小中学校又は高校3校で実施	○全児童館で継続実施 ○児童館のない地区の小中学校又は高校3校で実施	子ども未来課 子育て支援担当 054-221-1543	市HP(子ども未来課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」 市広報紙 周知チラシ	650	650
227	継	0歳～概ね18歳	世代間交流事業	地域の高齢者や市民団体と子どもが工作等を行ったり、地域の大人が昔の遊びを教えたり自然観察を行うなどの三世代交流事業、施設まつり等を実施します。	地区交流会(まつり)30事業実施	地区交流会(まつり)31事業実施	地区交流館(まつり)や世代間交流事業を73事業実施した。	地区交流館(まつり)や世代間交流事業を21事業実施した。(上半期)	継続実施	継続実施	生涯学習推進課 事業担当 054-221-1207	生涯学習施設HP 市広報紙 生涯学習交流館報 周知チラシ	指定管理料等(868,019千円)の一部	指定管理料等(868,019千円)の一部
合 計													650	650

(注1)「平成26年度当初予算額」の「合計」について、欄内にある「No.〇〇に含む」や「〇〇〇の一部」などの表現をしている予算額は、他事業と切り分けができないことや事業対象者に子ども以外を含んでいるなどの理由により、合計額に含めていません。

(注2)「平成25年度実績(見込)」については、平成26年9月頃にあらためて確定値を公表します。

(注3)本一覧表は、平成26年2月24日に取りまとめた状況です。

施策目標5「地域で子育て子育てを支え合う環境づくり」
基本施策2「地域における子育て支援活動や健全育成活動の促進」

※「区分」欄の説明

「継」⇒前年度から単に継続する事業、「新」⇒平成26年度からの新規事業、「重」⇒子どもプラン上の重点施策、「ま」⇒まちみがき戦略推進プラン事業、「拡」⇒平成26年度に拡大・拡充する事業、「終」⇒終了した事業

単位:千円

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
228	継	0歳～概ね18歳	簡易児童館の運営助成	児童の健全育成や地域児童のコミュニティ活動の増進を目的として、市が自治会等に無償貸与し、維持管理について補助金を交付します。	7館	7館	6館	6館	5館	5館	子ども未来課 子育て支援担当 054-221-1543	市HP(子ども未来課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」	350	350
229	継	保護者	子育てサークル活動支援事業	子育てサークルが活動に際して生涯学習施設を利用する場合、その使用料等の減免を行うとともに、子育てサークルと協働事業を行うなど団体育成や活動支援を実施します。	子育てサークル等と21事業共催事業を実施	子育てサークル等と23事業共催事業を実施	子育てサークル等と24事業共催事業を実施	子育てサークル等と8事業共催事業を実施(上半期)	継続実施	継続実施	生涯学習推進課 事業担当 054-221-1207	認定団体申請書	指定管理料等(868,019千円)の一部	指定管理料等(868,019千円)の一部
230	継		「子育てコーチング講座」の開催	子育てサークル等と連携し、「子育てコーチング講座」を開催し、子育てに不安や悩みを持つ保護者を対象にコーチング講座を開催します。	未実施	○6月に各区ごとに開催(1開催2日間) 参加者数 68人 ○2月に振り返り及びステップアップのための講座を開催 参加者数 18人	2会場にて開催(1開催2日間) 参加者数 59人	葵区・清水区の2会場にて開催(1開催2日間) 参加者数 60名	2会場にて開催(1開催2日間)	継続実施	子ども未来課 企画調整担当 054-221-1169	市HP(子ども未来課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」 チラシ	269	269
231	継	全市民	子育てサポーターの育成	子育てサークル「パティプロジェクト」との協働により、「子育てサポーター養成講座」を開催し、地域で活動する子育てボランティアの養成を行うとともに、講座修了者に対して、研修会等を実施します。	○「子育てサポーター養成講座」全9回の開催 参加者:33人 ○講座修了者対象の「子育てサポーター研修会」の開催	○「子育てサポーター養成講座」全10回の開催 参加者:33人 ○講座修了者対象の「子育てサポーター研修会」の開催 参加者:26人	○「子育てサポーター養成講座」全10回の開催 参加者:34人	○「子育てサポーター養成講座」全10回の開催 参加者:26名	○「子育てサポーター養成講座」の開催 ○「子育てサポーター研修会」の開催	継続実施	子ども未来課 企画調整担当 054-221-1169	市HP(子ども未来課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」 チラシ	820	820
232	継		青少年健全育成団体の活動への支援	地域や学校、家庭が連携した地域ぐるみの青少年健全育成活動を推進し、地域住民の意識と関心を高めつつ、青少年の健全育成を図るため、各地域の健全育成団体へ補助金を交付します。	健全育成大会への参加者数 20,190人	健全育成大会への参加者数 17,935人	健全育成大会への参加者数 17,860人	健全育成大会への参加者数 17,000人	健全育成大会への参加者数 13,000人	継続実施	青少年育成課 指導担当 054-221-1474	冊子「健全育成」 市HP(青少年育成課)	13,324	13,324
233	継	「こどもみらいプロジェクト」イベントの開催	静岡新聞・静岡放送が主催(静岡市後援)するイベントで、地域団体や企業等も参加して、子育てに関する情報発信、ネットワークづくりなどを目的とし、ステージでの催しや各ブースにて様々な取組や情報提供を行います。	H22.10.9～10ツインメッセ静岡にて開催。 静岡市ブースにおいて、「出張地域子育て支援センター」を実施し、子育て支援センター及びファミリー・サポート・センター等の周知に努めた。 また、市内保育園から園児の絵画を募集し、会場内に掲示した。	H23.10.8～9ツインメッセ静岡にて開催。 静岡市ブースにおいて、「出張地域子育て支援センター」を実施し、子育て支援センター及びファミリー・サポート・センター等の周知に努めた。 また、市内保育園から園児の絵画を募集し、会場内に掲示した。	H24.10.6～7ツインメッセ静岡にて開催。 静岡市ブースにおいて、「出張地域子育て支援センター」を実施し、子育て支援センター及びファミリー・サポート・センター等の周知に努めた。 また、市内保育園から園児の絵画を募集し、会場内に掲示した。	H25.10.12～13ツインメッセ静岡にて開催。 静岡市ブースにおいて、「出張地域子育て支援センター」を実施し、子育て支援センター及びファミリー・サポート・センター等の周知に努めた。 また、市内保育園から園児の絵画を募集し、会場内に掲示した。	静岡市ブースにおいて、「地域子育て支援センター」を実施し、子育て支援センター及びファミリー・サポート・センター等の周知に努める。	継続実施	子ども未来課 企画調整担当 054-221-1169	市HP(子ども未来課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」 チラシ HP: http://www.at-s.com/blogs/papama/	245	245	

掲載No	区分	対象	事業名	事業概要	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績(見込)	平成26年度取組内容(計画)	平成26年度末目標値	担当課・連絡先	事業の詳細が分かる媒体等	平成26年度当初予算額	
													予算額	うち一財
234	継		「笑顔でギュッとパパママ応援団」の開催	静岡第一テレビや静岡県、静岡市等の共催により、地域団体や企業等も参加して、子育てネットワークづくり、地域ぐるみの子育て支援を推進するために、ステージでの催しや各ブースにて様々な取組や情報提供を行います。	静岡市ブースにおいて、「身体測定・発育相談」を実施する予定であったが、H23.3.11の東北地方大震災によりイベント中止となった。	H24.3.10～11ツインメッセ静岡にて開催。本市にて「身体測定・発育相談」コーナーを担当。	H25.3.16～17ツインメッセ静岡にて開催。本市にて「身体測定・発育相談」コーナーを担当。	H25.3.15～16ツインメッセ静岡にて開催。本市にて「身体測定・発育相談」コーナーを担当する予定。	静岡市ブースにおいて、「身体測定・発育相談」等の子育て支援に関する取組や情報提供を行う。	継続実施	子ども未来課 企画調整担当 054-221-1169	市HP(子ども未来課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」 チラシ パパママ応援団HP: http://sdte.sakura.ne.jp/papamama/	245	245
235	継		「静岡市子育て支援団体連絡会」の設立・運営	市内の個人、子育てサークル、NPO法人など子育て支援活動を行う団体等が会員となって組織し、会員相互の情報交換や会員の活動に係る相互連携を行うとともに、連絡会としての子育て支援活動を企画・立案して実施します。	未実施	市社協と連携し、連絡会設立のための準備(規約案の作成、子育て支援団体の把握、案内通知の作成・発送など)	7月:第1回開催 12月:第2回開催 3月:第3回開催 参加団体:30 各会員の子育て支援に関する取組紹介や相互の情報交換を行った。	6月:第1回開催 12月:第2回開催 2月:第3回開催予定 参加団体:51 各会員の子育て支援に関する取組照会や相互の情報交換を行った。	年3回程度開催し、会員相互の情報交換や、子育て支援の連携に取り組む。	継続実施	子ども未来課 企画調整担当 054-221-1169	市HP(子ども未来課) 子育て応援総合HP「ちゃむ」	0	0
合 計													15,253	15,253

(注1)「平成26年度当初予算額」の「合計」について、欄内にある「No.〇〇に含む」や「〇〇〇の一部」などの表現をしている予算額は、他事業と切り分けができないことや事業対象者に子ども以外を含んでいるなどの理由により、合計額に含めていません。

(注2)「平成25年度実績(見込)」については、平成26年9月頃にあらためて確定値を公表します。

(注3)本一覧表は、平成26年2月24日に取りまとめた状況です。